

FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform

データベースサービス 操作ポータルユーザーズガイド

第 1.2 版

富士通株式会社

- 本資料の無断複製、転載を禁じます。
- 本資料は仕様変更等により予告なく内容を変更する場合がございます。予めご注意願います。

まえがき

本書の目的

本書は、FUJITSU Hybrid IT Service Digital Application Platform が提供するデータベースサービス（以降、データベースサービス）の操作ポータルを構築、運用するための基本的な操作手順を示しています。

本書は東日本第 3 リージョンを対象としています。

本書の読者

本書は、データベースサービスを運用される方を対象としています。

なお、本書は、以下についての一般的な知識があることを前提に書かれています。


- FJcloud-O IaaS の サービスの操作
- PostgreSQL
- Linux

マニュアル体系

目的・用途に合わせて、以下の関連マニュアルもお読みください

マニュアル名称	目的・用途
データベースサービス操作ポータルユーザーズガイド（本書）	本サービスが提供する操作ポータル機能の使い方を説明した資料です。
データベースサービスユーザーズガイド	本サービスが提供するデータベースサービスの基本的な操作方を説明した資料です。操作ポータルではできない操作はこのマニュアルを参照してください。
FJcloud ポータルユーザーズガイド	本サービスの利用開始や IaaS 管理を行う際に参照してください。
IaaS ポータルユーザーズガイド	FJcloud-O IaaS の GUI を利用する際に参照してください。
API リファレンス	性能監視、アラーム機能の各パラメータについてはこのマニュアルを参照してください。

商標

- Adobe、Adobe 、Acrobat、および Reader は、Adobe Systems Incorporated の米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- Apache、Tomcat は、The Apache Software Foundation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Linux®は米国及びその他の国における Linus Torvalds の登録商標です。
- Red Hat、Red Hat Enterprise Linux は米国およびその他の国において登録された Red Hat, Inc.の商標です。
- UNIX は、米国およびその他の国におけるオープン・グループの登録商標です。

• そのほか、本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

なお、本書では、システム名または製品名に付記される登録表示（™または®）は、省略しています。

輸出管理規制

本ドキュメントを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

お願い

- 本書は、予告なしに変更されることがあります。
- 本書を無断で他に転用しないようお願いいたします。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。

[高度な安全性が要求される用途への使用について]

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

目次

まえがき	2
第1章 データベースサービス ポータル概要	6
1.1 データベースサービス ポータルとは	6
1.1.1 推奨環境	6
1.1.2 提供リージョン	6
1.2 ログイン方法	6
1.3 画面構成	6
1.4 共通操作	7
1.4.1 システムエリアの共通操作	7
1.4.2 表示領域の共通操作	8
1.5 注意事項	9
第2章 データベース仮想サーバー一覧	10
2.1 操作について	11
第3章 データベース仮想サーバ作成	13
3.1 事前準備	13
3.2 データベース仮想サーバ作成方法	13
第4章 データベース仮想サーバ詳細	18
第5章 データベース仮想サーバ変更	22
第6章 DB パラメーターグループ	23
6.1 DB パラメーターグループ一覧	23
6.1.1 DB パラメーターグループに対する操作について	24
6.2 DB パラメーターグループ作成	24
6.3 DB パラメーターグループ詳細	25
6.4 DB パラメーター変更	26
6.5 DB パラメーターグループ削除	27
第7章 データベースログ参照	29
第8章 性能監視	31
8.1 性能監視利用状況	31
8.2 監視機能の利用開始	31
8.3 監視機能の利用終了	32
8.4 モニタリング対象リソース一覧	32
8.5 リソース監視情報	32
8.6 性能監視グラフ	34
8.6.1 グラフ表示内容切り替え方法	34
8.6.2 グラフ操作	34
第9章 セキュリティグループ	36
9.1 セキュリティグループ一覧	36
9.1.1 セキュリティグループに対する操作について	36
9.2 セキュリティグループ作成	37
9.3 セキュリティグループ詳細	37

9.4	セキュリティグループ管理	38
9.4.1	セキュリティグループの追加	38
9.4.2	セキュリティグループの削除	39
9.5	セキュリティグループ編集	40
9.6	セキュリティグループ削除	40
第 10 章	DB スナップショット	42
10.1	DB スナップショット一覧	42
10.1.1	DB スナップショットに対する操作について	42
10.2	DB スナップショット作成	43
10.3	DB スナップショット詳細	44
10.4	DB スナップショット複製	44
10.5	DB スナップショット削除	45
第 11 章	データベース仮想サーバの復旧	46
11.1	DB スナップショットからのデータベース仮想サーバの復旧	46
11.2	ポイントイン・タイムリカバリーによるデータベース仮想サーバの復旧	47
第 12 章	リードレプリカの作成	49
12.1	リードレプリカの作成	49
第 13 章	DB イベント通知	51
13.1	イベント通知登録一覧	51
13.1.1	イベント通知登録に対する操作について	51
13.2	イベント通知登録作成	52
13.3	イベント通知登録詳細	53
13.4	イベント通知登録編集	54
13.5	イベント通知対象の追加/削除	56
13.6	イベント通知登録削除	58
13.7	イベント通知一覧	58
第 14 章	アラーム	61
14.1	アラーム一覧	61
14.1.1	アラームに対する操作について	62
14.2	アラーム作成	62
14.3	アラーム詳細	72
14.4	アラーム編集	75
14.5	アラーム履歴	78
14.5.1	アラーム履歴表示方法	78
14.6	アラーム削除	80

第1章 データベースサービス ポータル概要

1.1 データベースサービス ポータルとは

データベースサービスを利用するためのブラウザアプリケーションです。

データベースサービスポータルでは、データベースリソースの一部について操作、参照を行うことができます。

1.1.1 推奨環境

データベースサービスポータルの推奨環境は以下のとおりです。

OS : Microsoft Windows 8.1/10

ブラウザ : Microsoft Edge、Google Chrome

1.1.2 提供リージョン

リージョン名およびリージョン識別子の対応関係を以下にします。

表 1-1 提供リージョン一覧

リージョン名	略称	リージョン識別子
東日本リージョン 3	東日本第 3	jp-east-3

1.2 ログイン方法

FJcloud ポータルの [管理]->[ご利用サービス管理] よりご利用中のデータベースサービスのサブグループ画面を開き、サービス名称をクリックしてログインします。

FJcloud ポータルの認証情報を引き継ぐため、パスワード等の入力是不要です。



図 1.1 ログイン画面

1.3 画面構成

データベースサービスポータルの画面は以下のとおり構成されています。



図 1.2 画面構成

表 1-2 領域名称

No.	名称	詳細
1	システムエリア	サービス名称やユーザー名等を表示します。
2	表示領域	選択されたリソースに関する情報を表示します。

1.4 共通操作

データベースサービスポータル画面の共通操作について説明します。

1.4.1 システムエリアの共通操作

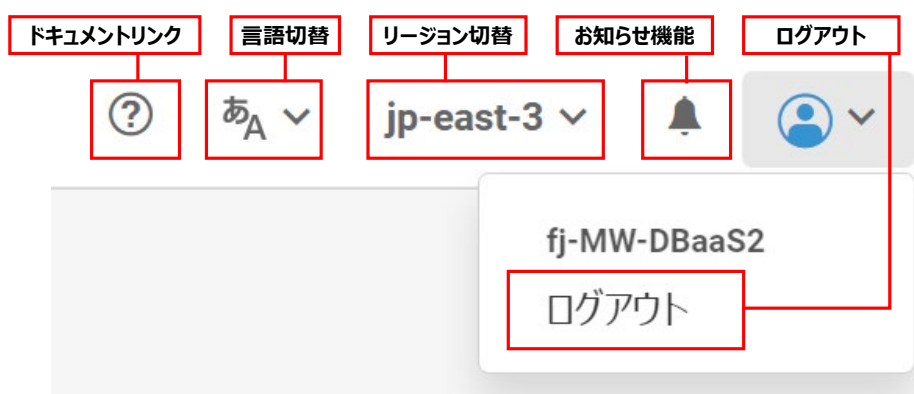


図 1.3 システムエリアの共通操作

1. ドキュメントリンク
クリックするとデータベースサービス ドキュメントページが表示されます。
2. 言語切替
プルダウンメニューから言語を選択すると、表示言語が日本語または英語に切り替わります。
3. リージョン切替
プルダウンメニューからリージョン名を選択すると、リージョンが切り替わります。
なお、プルダウンには利用開始済かつ利用可能なプロジェクトが 1 つ以上存在する リージョンのみ表示されます。
4. ログアウト
ユーザー名をクリックするとプルダウンで「ログアウト」が表示されます。ログアウトをクリックすると、データベースポータルからログアウトします
5. お知らせ機能
ベルのアイコンをクリックするとデータベースポータルに関する新着情報が表示されます。
未読の新着情報がある場合、赤丸のバッジが表示されます。

1.4.2 表示領域の共通操作



図 1.3 システムエリアの共通操作

1. プロジェクト切替
プルダウンメニューからプロジェクト名を選択すると、プロジェクトが切り替わります。リソースの作成中などでプロジェクトを切り替えられない場合があります。
2. 更新ボタン
クリックすると、表示領域の情報が更新(最新化)されます。リソース作成中などで情報を更新できない場合があります。
3. リソース追加
クリックすると、リソースの追加画面が表示されます。

4. フィルター

入力した文字列によって、一覧に表示された項目をフィルタリング(絞り込み)できます。

5. ページング

一覧項目の件数が多い場合は複数ページに分割されます。以下の操作でページが切り替わります。

- ・ ページ数を変更する。
- ・ ページ送りボタンをクリックする。

1.5 注意事項

ブラウザの「進む」ボタンと「戻る」ボタンは使用しないでください。正しく動作しない場合があります。

ログインに失敗する際はブラウザのキャッシュ、Cookieをクリアして、新規セッションにて、再度FJcloudポータルへログインしてください。また、データベースサービスを利用するには同リージョン（jp-east-3）のIaaSを利用開始している必要があります。

利用開始方法はデータベースサービス ユーザーズガイド「第1章 データベースサービスの利用と運用」を参照してください。

第2章 データベース仮想サーバー一覧

プロジェクト内に作成されたデータベース仮想サーバの一覧と状態などが確認できます。



図 2.1 データベース仮想サーバー一覧

表 2-1 データベース仮想サーバー一覧テーブル表示内容

No.	項目名	表示内容
1	データベース仮想サーバ名	データベース仮想サーバの名前
2	リソース ID	データベース仮想サーバの ID
3	状態	データベース仮想サーバの状態 表 2-2 データベース仮想サーバの状態を参照
4	アクション	データベース仮想サーバに対する各種操作 表 2-2 データベース仮想サーバの状態を参照

表 2-2 データベース仮想サーバの状態

No.	状態	説明
1	Active	SQL文発行受付状態
2	Backup	バックアップ中状態
3	Build	作成中状態
4	Failed	POST、PUT の API 実行に失敗した状態
5	Error	不正状態
6	Deleted	DB 仮想サーバは削除済みだが仮想サーバに紐付いたスナップショットが存在している状態
7	Reboot	起動中状態
8	Resize	データボリュームのリサイズ中状態
9	Modifying	属性変更中状態
10	Restart Required	再起動が必要な状態
11	Degenerated	DB 仮想サーバが片系で縮退運用されている状態

表 2-3 タブ表示内容

No.	項目名	表示内容
1	セキュリティグループ一覧	セキュリティグループ一覧ページに遷移します。 9.1 セキュリティグループ一覧を参照
2	DB パラメーターグループ一覧	DB パラメーターグループ一覧ページに遷移します。 6.1 DB パラメーターグループ一覧を参照
3	スナップショット一覧	スナップショット一覧ページに遷移します。 10.1 スナップショット一覧を参照
4	性能監視	性能監視ページに遷移します。 8章 性能監視を参照
5	イベント通知設定	イベント通知登録一覧ページに遷移します。 13.1 イベント通知登録一覧を参照
6	+(アイコン)	データベース仮想サーバ作成ページに遷移します。 3章 データベース仮想サーバ作成を参照

2.1 操作について



図 2.2 データベース仮想サーバ一覧アクション

データベース仮想サーバ一覧の操作として以下を提供します。

- ・ 起動
対象のデータベース仮想サーバのプルダウンから「起動」をクリックします。
- ・ パッチ適用後に起動
対象のデータベース仮想サーバのプルダウンから「パッチ適用後に起動」をクリックします。
- ・ 停止
対象のデータベース仮想サーバのプルダウンから「停止」をクリックします。
- ・ 再起動
対象のデータベース仮想サーバのプルダウンから「再起動」をクリックします。
- ・ パッチ適用後に再起動
対象のデータベース仮想サーバのプルダウンから「パッチ適用後に再起動」をクリックします。
- ・ 削除
対象のデータベース仮想サーバのプルダウンから「削除」をクリックします。

- ・ DB パラメーターグループ参照
 - 6.3 DB パラメーターグループ詳細を参照してください。
- ・ データベースログ参照
 - 7 章 データベースログ一覧、データベースログ詳細を参照してください。
- ・ スナップショット作成
 - 10.2 DB スナップショット作成を参照してください。
- ・ ポイントイン・タイムリカバリーによるリストア
 - 11.2 ポイントイン・タイムリカバリーによるデータベース仮想サーバの復旧を参照してください。
- ・ リードレプリカ作成
 - 12.1 リードレプリカの作成を参照してください。

第3章 データベース仮想サーバ作成

データベース仮想サーバを新たに作成します。

3.1 事前準備

データベース仮想サーバ作成の事前準備について説明します。

- (1) 「データベースサービスユーザズガイド」の2.1章 事前準備の(1)～(3)を実施してください。
- (2) 本マニュアルの9章と「データベースサービスユーザズガイド」の2.1章(4)(5)を参照し、セキュリティグループを作成してください。

3.2 データベース仮想サーバ作成方法

- (1) データベース仮想サーバ一覧画面右上の作成アイコン「+」をクリックします。
- (2) 以下を設定して「次へ」をクリックします。

- ・ データベース仮想サーバ名
- ・ データベース管理ユーザー名
- ・ データベース管理パスワード
- ・ データベース管理パスワード（確認用）
- ・ データディスクのサイズ（GB）
- ・ バックアップ（するしない）
- ・ バックアップ保存期間（日：1～10）
- ・ 冗長化（有効/無効）
- ・ DB エンジン
- ・ 説明

データベース仮想サーバ作成 キャンセル

1 データベース仮想サーバ情報 2 フレーバータイプ 3 サブネット 4 セキュリティグループ 5 確認

データベース仮想サーバ名 *	半角英数字・ハイフン, 238文字以内で入力してください。
データベース管理ユーザー名 *	半角英数字・アンダースコア, 63文字以内で入力してください。
データベース管理パスワード *	1024文字以内で入力してください。
データベース管理パスワード(確認用) *	1024文字以内で入力してください。
データディスクのサイズ(GB) *	10の倍数, 10~10240の間で入力してください。
バックアップ *	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
バックアップ保存期間(日) *	1
冗長化 *	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
DBエンジン *	enterprisepostgres 12
説明	1024文字以内で入力してください。

[次へ](#)

図 3.1 データベース仮想サーバ情報

(3) 以下を設定して「次へ」をクリックします。

- ・ フレーバータイプ

データベース仮想サーバ作成 キャンセル

1 データベース仮想サーバ情報 2 フレーバータイプ 3 サブネット 4 セキュリティグループ 5 確認

フレーバータイプ *	選択してください
------------	----------

[戻る](#) [次へ](#)

図 3.2 フレーバータイプ

(4) 以下を設定して「次へ」をクリックします。

- ・ サブネット

データベース仮想サーバ作成 キャンセル

✓ データベース仮想サーバ情報
 ✓ フレーバタイプ
 3 サブネット
 4 セキュリティグループ
 5 確認

サブネット* 選択してください ▼

戻る 次へ

図 3.3 サブネット

(5) 以下を設定して「次へ」をクリックします。

- ・ セキュリティグループ

データベース仮想サーバ作成 キャンセル

✓ データベース仮想サーバ情報
 ✓ フレーバタイプ
✓ サブネット
4 セキュリティグループ
5 確認

1 - 3 件 / 3 件中

<input type="checkbox"/>	セキュリティグループ名 ^
<input type="checkbox"/>	database_rt_secgroup_1
<input type="checkbox"/>	default
<input type="checkbox"/>	vpn-sg

戻る 次へ

図 3.4 セキュリティグループ

(6) 確認画面でこれまでの設定内容を確認します。

問題がなければ「作成」をクリックします。

データベース仮想サーバ作成

キャンセル

データベース仮想サーバ情報 フレーバータ입 サブネット セキュリティグループ 5 確認

データベース仮想サーバ情報

データベース仮想サーバ名	test-db03
データベース管理ユーザー名	postgres
データベース管理パスワード	*****
データディスクのサイズ(GB)	10
バックアップ	する
バックアップ保存期間(日)	1
冗長化	有効
DBエンジン	enterprisepostgres 12
説明	

フレーバータ입

フレーバータ입	C3-2
---------	------

サブネット

サブネット名	rds-management-subnet-1
--------	-------------------------

セキュリティグループ

セキュリティグループ	default
------------	---------

自動生成されたパラメータ

shared_buffers	104857
effective_cache_size	262144
log_line_prefix	['%m'][%h] [%p] [%c-%] [%x] [%e]

戻る

作成

図 3.5 設定内容の確認

パラメータについて

「自動生成されたパラメータ」は、データベースエンジンの推奨値から自動設定しています。

詳しくは API リファレンス「1.5 DB パラメーターグループ」を参照ください。

表 3-1 「自動生成されたパラメータ」表示内容

No.	項目名	表示内容
1	shared_buffers	画面項目「フレーバー」で選択したフレーバーのメモリ量の30%程度（※）を表示 単位:8kByte

2	effective_cache_size	画面項目「フレーバー」で選択したフレーバーのメモリ量の50%程度（※）を表示 単位:8kByte
3	log_line_prefix	データベースログ詳細画面に出力されるログのフォーマット

※データベースエンジンの推奨値

第4章 データベース仮想サーバ詳細

データベース仮想サーバ一覧のデータベース仮想サーバ名をクリックすることでデータベース仮想サーバ詳細を開くことができます。データベース仮想サーバ一覧では表示していない詳細情報を確認します。

データベース仮想サーバ情報

データベース仮想サーバ詳細

[一覧画面に戻る](#)[変更](#)

データベース仮想サーバ情報

ID	mRAnLLPFGhG-JBhvcBYIZVy54btxwdJ-VYuJ-FZ0sSWOcygSFKq01aB0pGDalHt
データベース仮想サーバ名	test-db01
状態	Active
作成日時	2022-10-24T07:42:56Z
更新日時	
データストレージのサイズ	10
データストレージのタイプ	M2
冗長化	true
関連付けられたリードレプリカ	
レプリケーション元データベース仮想サーバID	
リードレプリカの状態	
説明	
セキュリティグループ	ac96aef0-e8b9-4306-a148-bffbdb364c84

図 4.1 データベース仮想サーバ詳細（データベース仮想サーバ情報）

表 4-1 データベース仮想サーバ詳細（データベース仮想サーバ情報）

No.	項目名	表示内容
1	ID	データベース仮想サーバの ID
2	データベース仮想サーバ名	データベース仮想サーバの名前
3	状態	データベース仮想サーバの状態 表 2-2 データベース仮想サーバの状態参照
4	作成日時	作成日時
5	更新日時	更新日時
6	データストレージのサイズ	データストレージのサイズ(GB)
7	データストレージのタイプ	データストレージに使用するディスクタイプ
8	冗長化	true / false
9	関連付けられたリードレプリカ	関連付けられたリードレプリカ
10	レプリケーション元データベース仮想サーバ ID	レプリケーション元データベース仮想サーバの ID
11	リードレプリカの状態	リードレプリカの状態

12	セキュリティグループ	セキュリティグループ
13	説明	説明

フレーバタイプ

フレーバタイプ	
フレーバID	C3-2: 9223b636-5ed8-4abd-9fde-9a67743157aa

図 4.2 データベース仮想サーバ詳細（フレーバタイプ）

表 4-2 データベース仮想サーバ詳細（フレーバタイプ）

No.	項目名	表示内容
1	フレーバID	フレーバ名: フレーバID

ネットワーク情報

ネットワーク情報	
プライベートIPアドレス	100.120.100.33
グローバルIPアドレス	
インターネットから接続可	false
DBサブネット	6bbea9f2-0584-44ab-88e8-7570f25e7e95

図 4.3 データベース仮想サーバ詳細（ネットワーク情報）

表 4-3 データベース仮想サーバ詳細（ネットワーク情報）

No.	項目名	表示内容
1	プライベート IP アドレス	IP アドレス
2	グローバル IP アドレス	グローバル IP アドレス
3	インターネットからの接続可	true / false
4	DB サブネット	サブネットの ID

データベース情報

データベース情報	
ポート番号	5432
データベースのエンコーディング	
データベースの照合順序	C
データベースの種類	enterprisepostgres
データベースのバージョン	12
データベースのマイナーバージョン	0
データベース管理ユーザー名	postgres
DBパラメータグループのID	eYAUQKatKZR-0sy1iyvrgpv9nkhng7-0jHc-pk2lyD4blLUhUEiygXKdj1gN3t

図 4.4 データベース仮想サーバ詳細（データベース情報）

表 4-4 データベース仮想サーバ詳細 (データベース情報)

No.	項目名	表示内容
1	ポート番号	ポート番号
2	データベースのエンコーディング	データベースのエンコーディング
3	データベースの照合順序	照合順序
4	データベースの種類	種類
5	データベースのバージョン	バージョン
6	データベースのマイナーバージョン	マイナーバージョン
7	データベースの管理ユーザー名	データベースの管理ユーザーの名前
8	DB パラメータグループの ID	DB パラメータグループの ID

データベース運用情報

データベース運用情報	
バックアップ保持期間	1
バックアップ時間帯	06:57-07:27
メンテナンス時間帯	sun:05:57-sun:06:27
冗長化状態を即時復旧する	true
冗長化状態の自動復旧開始時間	

図 4.5 データベース仮想サーバ詳細 (データベース運用情報)

表 4-5 データベース仮想サーバ詳細 (データベース運用情報)

No.	項目名	表示内容
1	バックアップ保持時間	バックアップ保持期間日数
2	バックアップ時間帯	バックアップの時間帯
3	メンテナンス時間帯	メンテナンスの時間帯
4	冗長化状態を即時復旧する	true / false
5	冗長化状態の自動復旧開始時間	自動復旧開始時間

次回再起動時の変更パラメータ

次回再起動時の変更パラメーター

データストレージのサイズ
データストレージのタイプ
バックアップ保持期間
フレーバーID
データベース仮想サーバID
データベース仮想サーバ名
DBパラメータグループID
データベースのバージョン
データベース管理ユーザー名
データベース管理パスワード
マルチDBオプション
ポート番号
エンジンマイナーバージョン
セキュリティアップデート

図 4.6 データベース仮想サーバ詳細（次回再起動時の変更パラメータ）

表 4-6 データベース仮想サーバ詳細（次回再起動時の変更パラメータ）

No.	項目名	表示内容
1	データストレージのサイズ	データストレージのサイズ(GB)
2	データストレージのタイプ	データストレージに使用するディスクタイプ
3	バックアップ保持時間	バックアップの保持期間日数
4	フレーバーID	フレーバーID
5	データベース仮想サーバ ID	データベース仮想サーバの ID
6	データベース仮想サーバ名	データベース仮想サーバの名前
7	DB パラメータグループ ID	DB パラメータグループの ID
8	データベースのバージョン	データベースのバージョン
9	データベース管理ユーザー名	データベース管理ユーザーの名前
10	データベース管理パスワード	データベース管理パスワード
11	マルチ DB オプション	true / false
12	ポート番号	ポート番号
13	エンジンマイナーバージョン	データベースエンジンのマイナーバージョン
14	セキュリティアップデート	セキュリティアップデートの有無の設定

第5章 データベース仮想サーバ変更

データベース仮想サーバ詳細右上の「変更」ボタンをクリックすることでデータベース仮想サーバ変更を開くことができます。必要に応じて、データベース仮想サーバの構成を変更できます。

ID	mRAnLLPfGhG-JBhvcBYIZVy54btxwdJ-VYUJ-FZ0sSWOcygSFKq01aB0pGDalHt
データベース仮想サーバ名	test-db01
状態	Active
作成日時	2022-10-24T07:42:56Z
更新日時	

図 5.1 データベース仮想サーバ詳細（変更）

変更が必要なパラメーターを設定し、右上の「更新」をクリックします。

ID	mRAnLLPfGhG-JBhvcBYIZVy54btxwdJ-VYUJ-FZ0sSWOcygSFKq01aB0pGDalHt	test-db01
データベース仮想サーバ名	test-db01	test-db01
状態	Active	
作成日時	2022-10-24T07:42:56Z	
更新日時	2022-10-25T09:33:15Z	
データストレージのサイズ	10	100
データストレージのタイプ	M2	
冗長化	true	
関連付けられたリードレプリカ		
レプリケーション元データベース仮想サーバID		
リードレプリカの状态		
説明		
セキュリティグループ	ac96aef0-e8b9-4306-a148-bffbdb364c84	変更

図 5.2 データベース仮想サーバ変更

第6章 DB パラメーターグループ

6.1 DB パラメーターグループ一覧

データベース仮想サーバー一覧画面上的「DB パラメーターグループ一覧」ボタンをクリックします。

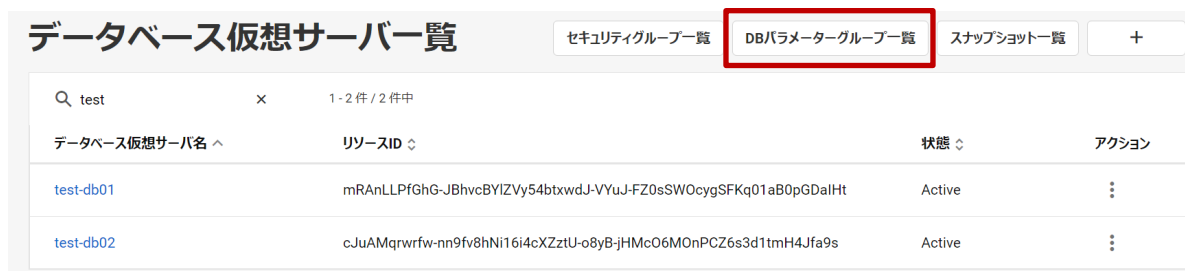


図 6-1 データベース仮想サーバー一覧

DB パラメーターグループの一覧を確認できます。



図 6-2 DB パラメーターグループ一覧

表 6-1 DB パラメーターグループ一覧テーブル表示内容

No.	項目名	表示内容
1	DB パラメーターグループ名	DB パラメーターグループの名前
2	DB パラメーターグループ ID	DB パラメーターグループの ID
3	DB パラメーターグループファミリ	DB パラメーターグループのファミリタイプ
4	適用データベース仮想サーバ	DB パラメーターグループが適用されているデータベース仮想サーバの ID
5	アクション	DB パラメーターグループに対する各種操作

6.1.1 DB パラメーターグループに対する操作について

DBパラメーターグループ名	DBパラメーターグループID	DBパラメーターグループファミリ	適用データベース仮想サーバ	アクション
portal-test-RDS-ParameterGrp	kOgkiyDMrpB-HWMtnAEJk1mwHZ3gAOc-eyfH-cMVtmJynMNQcl4VUJVIXR1rCLA	enterprisepostgres_v14		⋮
test-RDS-ParameterGrp	EoxAYyEnapg-nGdhcvPlchi8JE85SpQ-b77Th-I70SzGMdwWHVZ99CpEUALPLgAJ	enterprisepostgres_v13	mRAnLLPfGhG-JBhvcBYIZVy54btxwdJJSWOCygySFKq01aB0pGDalHt	詳細 編集 削除
test-RDS-ParameterGrp	MtsYlklEzzX-NEK8XArKM0ucQWgC1GN-JCCq-xa17eeGPLYOVzRtzufLG855pxG	enterprisepostgres_v13		⋮

図 6.3 DB パラメーターグループ一覧アクション

DB パラメーターグループ一覧の操作として以下を提供します。

- ・ 詳細
対象の DB パラメーターグループのプルダウンから「詳細」をクリックします。
6.3 章「DB パラメーターグループ詳細」を参照してください。
- ・ 編集
対象の DB パラメーターグループのプルダウンから「編集」をクリックします。
6.4 章「DB パラメーター変更」を参照してください。
- ・ 削除
対象の DB パラメーターグループのプルダウンから「削除」をクリックします。
6.5 章「DB パラメーターグループ削除」を参照してください。

6.2 DB パラメーターグループ作成

DB パラメーターグループを新規に作成します。

- (1) DB パラメーターグループ一覧画面右上の作成アイコン「+」をクリックします。
- (2) 以下を設定して「作成」をクリックします。
 - ・ DB パラメーターグループ名
 - ・ DB パラメーターグループファミリ
 - ・ 説明

DBパラメーターグループ作成 キャンセル

1 DBパラメーターグループ詳細 2 確認

DBパラメーターグループ名 *

DBパラメーターグループファミリ *

説明

図 6.4 DB パラメーターグループ作成

6.3 DB パラメーターグループ詳細

DB パラメーターグループ一覧の DB パラメーターグループ名をクリックすることで、DB パラメーターグループ詳細を開くことができます。DB パラメーターグループ一覧では表示していない詳細情報を確認します。

また、データベース仮想サーバー一覧画面で、パラメーターグループを参照するデータベースのプルダウンから「DB パラメーターグループ参照」をクリックすることで、そのデータベースに適用されている DB パラメーターグループの詳細情報を確認できます。

データベース仮想サーバー一覧 +

Filter 1 - 2 件 / 2 件中

データベース仮想サーバ名	リソースID	状態	アクション
test-db03	PdCdYAmxaOS-XxqtZTGttZ4noc2MhC7-ql2C-gDgPbVeM7Rvq0zwPBK0er9tm4B	Active	⋮
test-db01	fJgBSw0EsQM-pwzzHKFnJ9EJpIDklpA-6AzZ-AU5L2b2RFEWvtA3KGBgGkkZNPj		<ul style="list-style-type: none"> 停止 再起動 削除 DBパラメーターグループ参照 データベースログ参照

図 6.5 データベース仮想サーバー一覧

DB パラメーターグループの詳細を確認できます。

DBパラメーターグループ詳細 一覧画面に戻る 変更

DBパラメーターグループ

DBパラメーターグループ名	test-RDS-ParameterGrp
DBパラメーターグループID	EoxAYyEnapg-nGdhcvPlchi8JE85SpQ-b7Th-170SzMdwWHVZ99CpEUAIPLgAJ
説明	test-RDS-ParameterGrp
DBパラメーターグループファミリ	enterprisepostgres_v13
適用データベース仮想サーバ	mRAnLLPFGhG-JBhvcBYIZVy54btxwdJ-VYyJ-FZ0sSW0cygSFKq01aB0pGDalHt

図 6.6 DB パラメーターグループ詳細 (パラメーターグループ)

表 6-2 DB パラメーターグループ詳細表示内容

No.	項目名	表示内容
1	DB パラメーターグループ名	DB パラメーターグループの名前
2	DB パラメーターグループ ID	DB パラメーターグループの ID
3	説明	DB パラメーターグループの説明
4	DB パラメーターグループファミリ	DB パラメーターグループのファミリタイプ
5	適用データベース仮想サーバ	DB パラメーターグループが適用されているデータベース仮想サーバの ID

パラメーター詳細

autovacuum_vacuum_threshold
archive_mode
backslash_quote
bgwriter_delay
bgwriter_lru_maxpages
bgwriter_lru_multiplier
bonjour

図 6.7 DB パラメーターグループ詳細 (パラメーター詳細)

パラメータ詳細については値が存在しない場合は空欄となります。

パラメータについては、「データベースサービス ユーザーズガイド」の付録 A を参照してください。

6.4 DB パラメーター変更

データベースのパラメーターを変更できます。

DB パラメーターグループ一覧で、パラメーター変更する DB パラメーターグループのプルダウンから「編集」をクリックするか、DB パラメーターグループ詳細画面の「変更」ボタンをクリックすることで、DB パラメーター変更画面へ遷移できます。

DBパラメーターグループ一覧					データベース仮想サーバ一覧画面に戻る	+
DBパラメーターグループ名	DBパラメーターグループID	DBパラメーターグループファミリ	適用データベース仮想サーバ	アクション		
portal-test-RDS-ParameterGrp	kOgkiyDMrpB-HWMtnAEJk1mwHZ3gA0c-eyfH-cMVtmJynMNQcl4VUJVIXR1rCLA	enterprisepostgres_v14			⋮	
test-RDS-ParameterGrp	EoxAYyEnapg-nGdhcvPlchi8JE85SpQ-b77Th-I70SzGMdwWHVZ99CpEUAIPLgAJ	enterprisepostgres_v13	mRAnLLPfGhG-JBhvcBYIZVy54btwdJ-VSWOcygSFKq01aB0pGDalHt		詳細 編集 削除	
test-RDS-ParameterGrp	MtsYIkLEzzX-NEK8XArKM0ucQWgC1GN-JCCq-xa17eeGPLYOvzRtzufLG855pxG	enterprisepostgres_v13			⋮	

図 6.8 DB パラメーターグループ一覧 (パラメーター変更)

DBパラメーターグループ詳細

一覧画面に戻る 変更

DBパラメーターグループ

DBパラメーターグループ名	test-RDS-ParameterGrp
DBパラメーターグループID	EoxAYyEnapg-nGdhcvPlchi8JE85SpQ-b7Th-l70SzGMdwWHVZ99CpEUAIPLgAJ
説明	test-RDS-ParameterGrp
DBパラメーターグループファミリ	enterprisepostgres_v13
適用データベース仮想サーバ	mRAnLLPfGhG-JBhvcBYIZVy54btxwdJ-VYUJ-FZ0sSW0cygSFKq01aB0pGDalHt

図 6.9 DB パラメーターグループ詳細 (パラメーター変更)

変更が必要なパラメーターを設定し、右上の「更新」をクリックします。

パラメータについては、「データベースサービス ユーザーズガイド」の付録 A を参照してください。

DBパラメーターグループ変更

一覧画面に戻る 更新

DBパラメーターグループ

DBパラメーターグループ名	portal-test-RDS-ParameterGrp
DBパラメーターグループID	kOgkiyDMrpB-HWMtnAEJk1mwHZ3gAOc-eyfH-cMVtmJynMNQcl4UUVJXR1rCLA
説明	portal-test-RDS-ParameterGrp
DBパラメーターグループファミリ	enterprisepostgres_v14
適用データベース仮想サーバ	

パラメーター詳細

default_transaction_isolation	<input type="text"/>
log_timezone	<input type="text"/>
logger	<input type="text"/>
pgaudit.log_filename	<input type="text"/>
log_truncate_on_rotation	<input type="text"/>
fifo_directory	<input type="text"/>
role	<input type="text"/>
log_catalog	<input type="text"/>
log_parameter	<input type="text"/>

図 6.10 DB パラメーター変更

6.5 DB パラメーターグループ削除

DB パラメーターグループを削除できます。

- (1) DB パラメーターグループ一覧画面で、削除する DB パラメーターグループのプルダウンから「削除」をクリックします。
- (2) 削除内容を確認して問題なければ「削除」ボタンをクリックします。



図 6.11 DB パラメーターグループ削除の確認

第7章 データベースログ参照

データベース仮想サーバー一覧画面で、ログを参照するデータベースのプルダウンから「データベースログ参照」をクリックします。

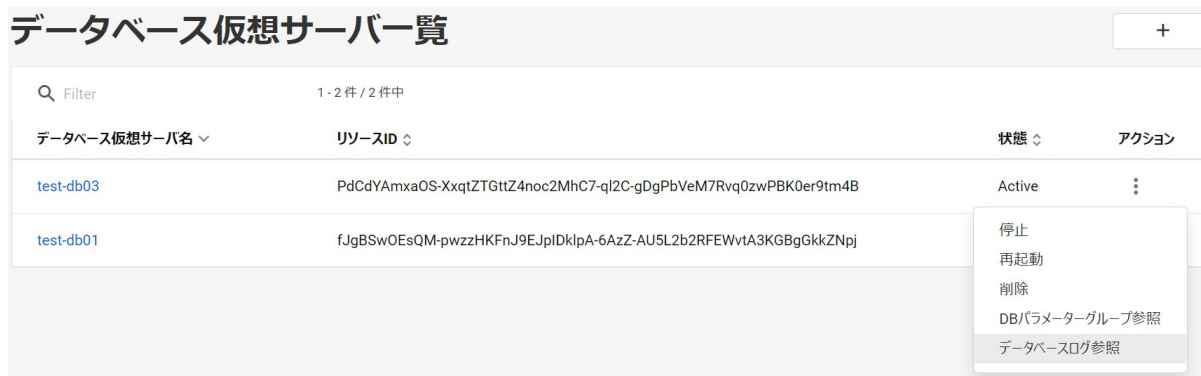


図 7.1 データベース仮想サーバー一覧

データベースログの一覧を確認できます。



図 7.2 データベースログ一覧

表 7-1 データベースログ詳細表示内容

No.	項目名	表示内容
1	ログファイル名	ログファイルの名前
2	日付	最終更新日
3	ファイルサイズ	ファイルサイズ 単位:kB

データベースログ一覧のログファイル名をクリックすることでデータベースログ詳細を開くことができます。

データベースログ一覧では表示していない詳細情報を確認します

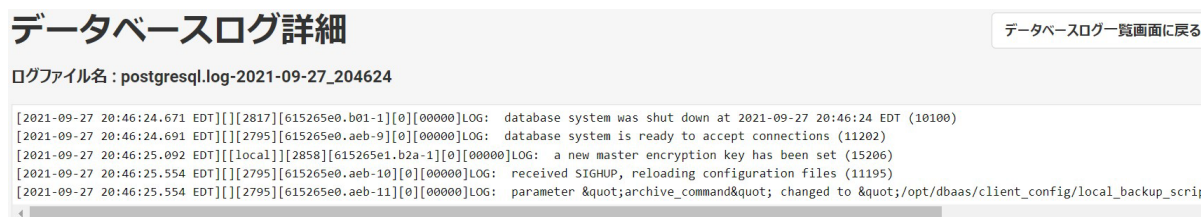


図 7.3 データベースログ詳細

表 7-2 データベースログ詳細表示内容

No.	項目名	表示内容
-----	-----	------

1	ログファイル名	ログファイルの名前
2	ログ内容	postgres のログ

第8章 性能監視

性能監視を利用する場合は、「データベースユーザズガイド 3.4 性能監視 1)事前準備」を事前に実施してください。

8.1 性能監視利用状況

データベース仮想サーバー一覧画面上の「性能監視」ボタンをクリックします。



図 8.1 データベース仮想サーバー一覧

性能監視機能の利用状況を確認できます。モニタリング対象リソース一覧については、「8.4 モニタリング対象リソース一覧」を参照してください。アラーム機能については、「14 章 アラーム」を参照してください。



図 8.2 性能監視

表 8-1 性能監視テーブル表示内容

No.	項目名	表示内容
1	性能監視利用状況	利用する/利用しない
2	監視情報登録先プロジェクト ID	監視情報登録先（東日本第 2 リージョン）のプロジェクト ID

8.2 監視機能の利用開始

性能監視機能の利用を開始します。

(1) 性能監視画面上の「利用開始」ボタンをクリックします。

(2) 以下を設定して「開始」をクリックします。

- ・ 監視情報登録先(東日本第 2 リージョン)プロジェクト ID

監視機能利用開始 キャンセル

監視情報登録先(東日本第2リージョン)
プロジェクトID *

図 8.3 監視機能利用開始

8.3 監視機能の利用終了

性能監視機能の利用を終了します。

- (1) 性能監視画面上の「利用終了」をクリックします。
- (2) 内容を確認して問題なければ「終了」ボタンをクリックします。

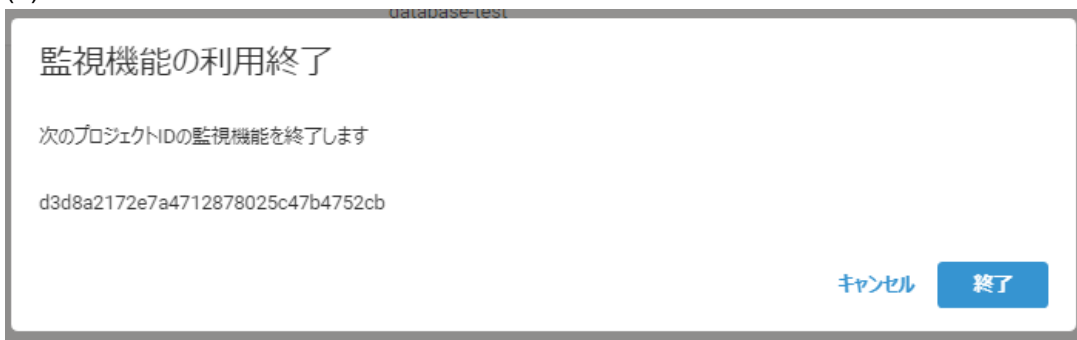


図 8.4 監視機能利用終了

8.4 モニタリング対象リソース一覧

モニタリング対象リソース一覧を表示します。

性能監視 データベース仮想サーバー一覧画面に戻る 利用開始 利用終了 アラーム設定

性能監視利用状況	利用する
監視情報登録先プロジェクトID	d3d8a2172e7a4712878025c47b4752cb

モニタリング対象リソース一覧

data × 1 - 2 件 / 2 件中

リソース名	リソースID	AZ
dbsnapshot-database-test	vMDMLZlv0Fa-HY1NaffkVUQN5dyWoB4-7q4S-PvHIDTEv03k0PZE9JHHj3ksnx9	jp-east-3
test-database	database-test	jp-east-3

図 8.5 モニタリング対象リソース一覧

表 8-2 モニタリング対象リソース一覧テーブル表示内容

No.	項目名	表示内容
1	リソース	リソースの名前
2	リソース ID	リソースの ID
3	AZ	アベイラビリティゾーン

8.5 リソース監視情報

モニタリング対象リソース一覧で表示したリソースのリソース名をクリックすることで、リソース監視情報画面を開くことができます。

対象リソース一覧では表示していない詳細情報を確認します。

リソース監視情報

一覧画面に戻る

リソース情報

リソース	test-database
リソースID	database-test

図 8.6 リソース監視情報

グラフ

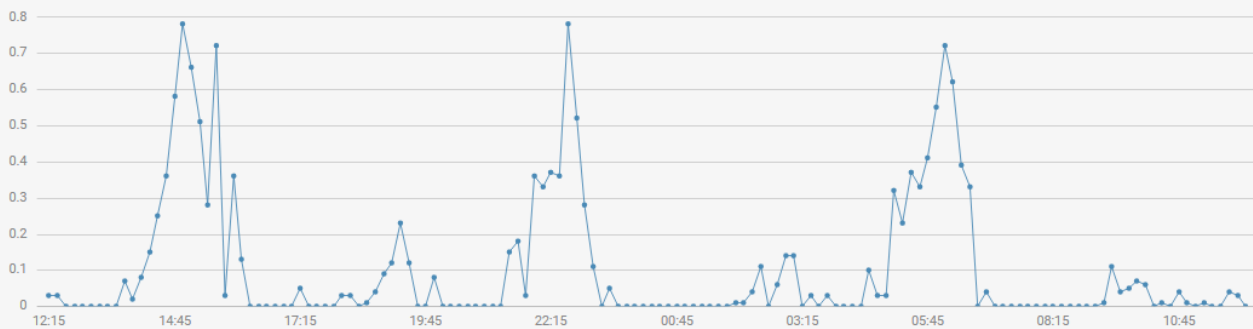
検索

開始日時(UTC) *

終了日時(UTC) *

メーター

表示間隔(分)



サンプル統計値

最小値	最大値	平均値
0	0.78	0.104577464788732

図 8.7 リソース監視情報 (グラフ)

表 8-3 リソース監視情報表示内容

No.	分類	項目名	表示内容
1	リソース情報	リソース	リソースの名前
2		リソース ID	リソースの ID
3	グラフ	開始日時(UTC)	グラフに表示するデータの開始日時
4		終了日時(UTC)	グラフに表示するデータの終了日時
5		メーター	「8.6 性能監視グラフ」参照
6		表示間隔	
7	折れ線グラフ		
8	サンプル統計値	最小値	統計値の最小値
9		最大値	統計値の最大値
10		平均値	統計値の平均値

8.6 性能監視グラフ

横軸が時間、縦軸がサンプルの値のグラフを表示します。

8.6.1 グラフ表示内容切り替え方法

リソース監視情報のメーターのプルダウンから、グラフを表示したいメーターを選択します。

※メーターの表示項目については、「データベースユーザズガイド 3.4 性能監視」を参照してください。

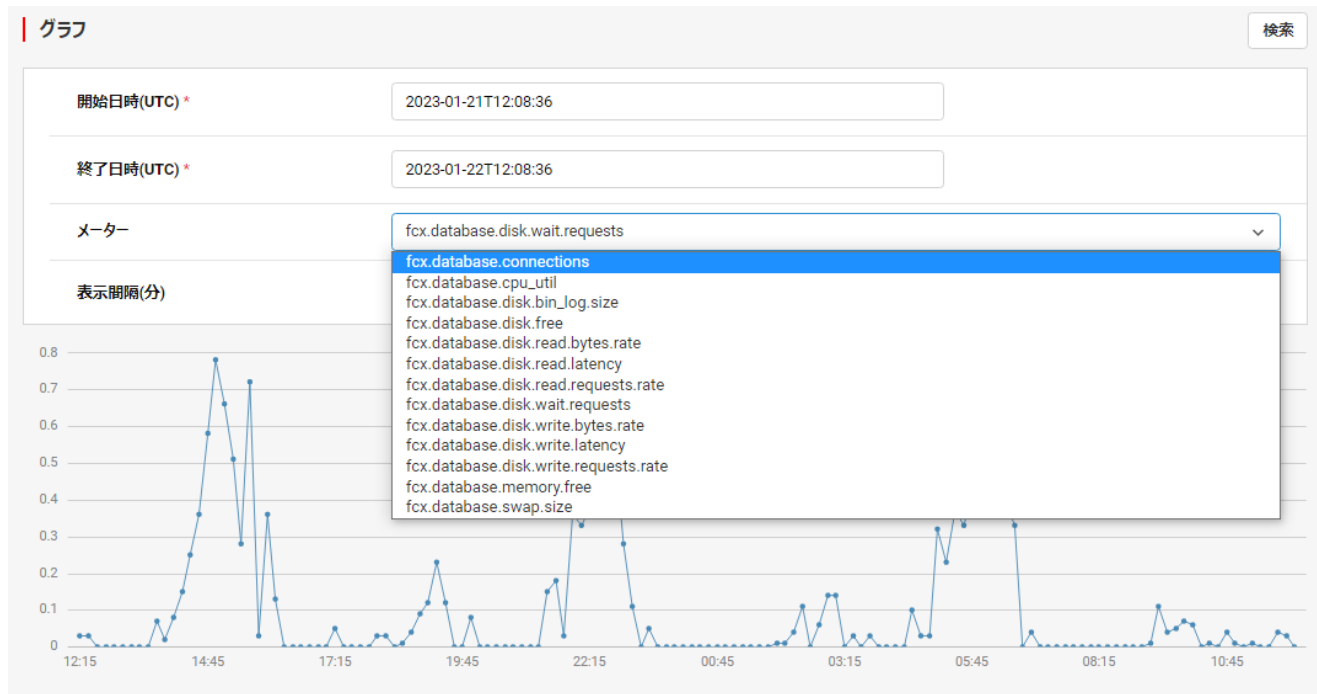


図 8.8 リソース監視情報 (グラフ : メーター)

8.6.2 グラフ操作

カーソルをグラフに近づけると詳細 (日付、時間、サンプルの値) を表示します。

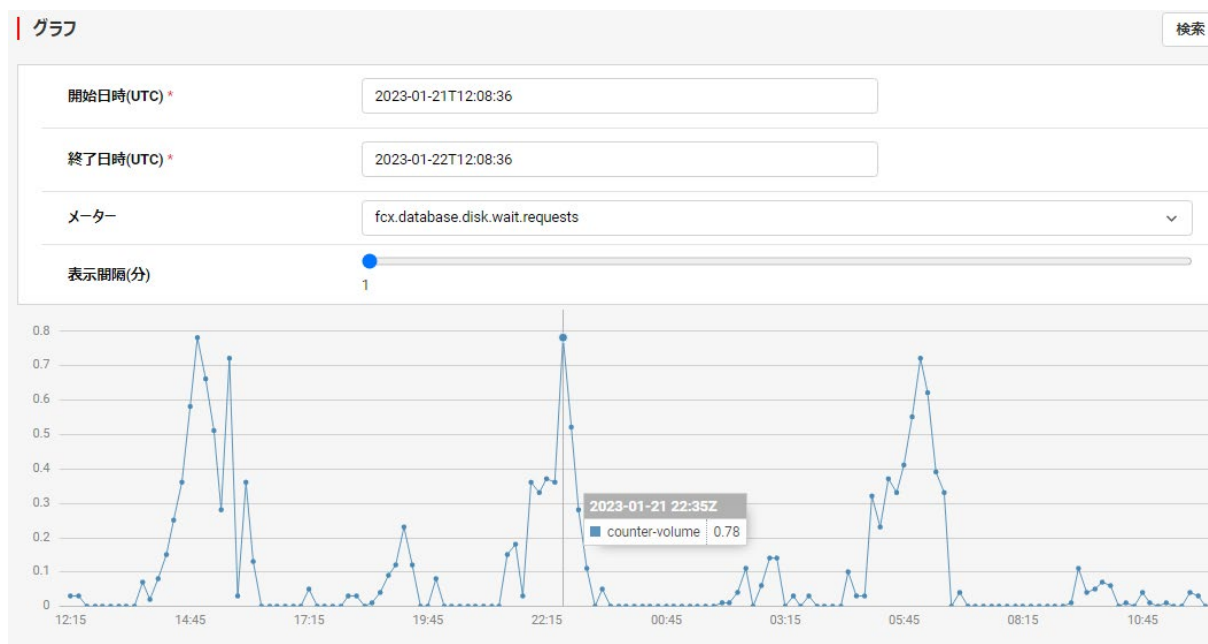


図 8.9 リソース監視情報 (グラフ : 初期表示)

表示間隔のスライダーを動かすと、データをプロットする間隔を変更できます。

- ・ スライダーを右に動かすと広く、左に動かすと狭くなります。
- ・ 1分～60分の間で調節ができます。

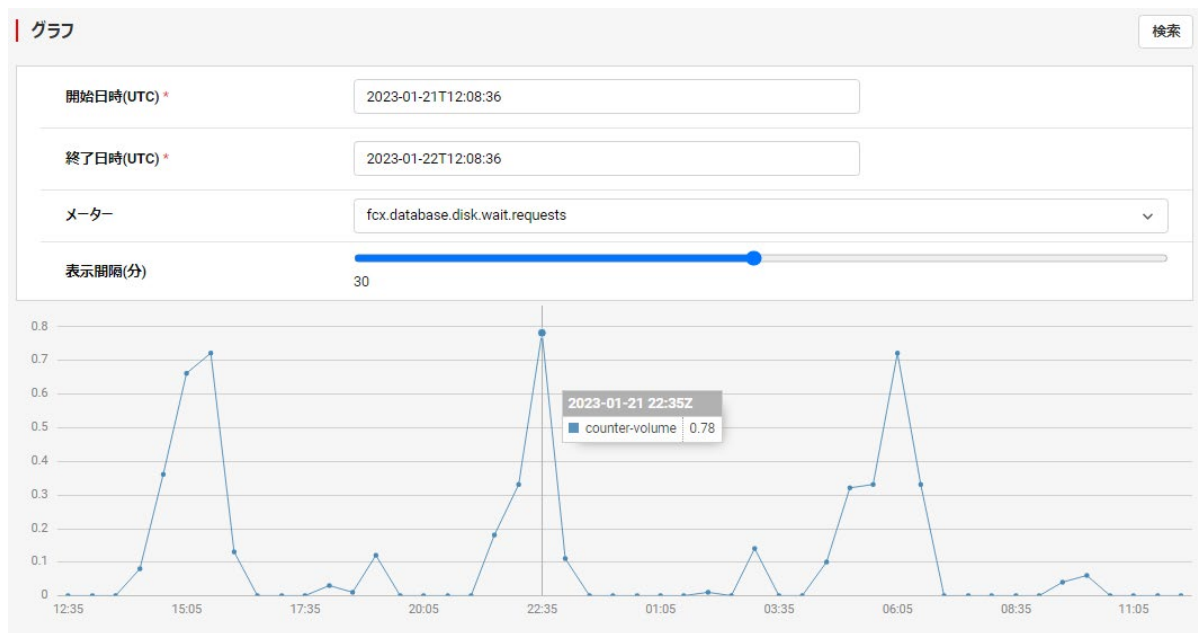


図 8.10 リソース監視情報（グラフ：表示間隔変更）

グラフ上でマウスホイールを上下に動かすとグラフの表示サイズを変更できます。

マウスホイールを上を動かすと拡大、下を動かすと縮小して表示します。

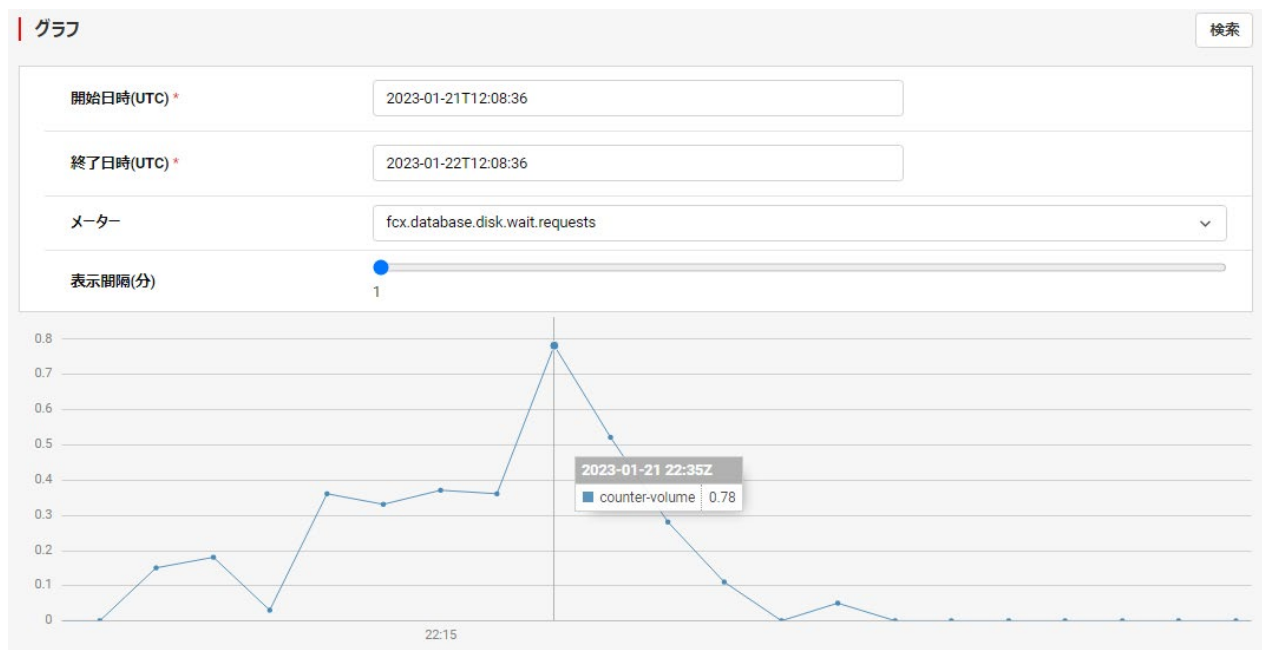


図 8.11 リソース監視情報（グラフ：表示サイズ変更）

第9章 セキュリティグループ

9.1 セキュリティグループ一覧

データベース仮想サーバー一覧画面の「セキュリティグループ一覧」ボタンをクリックします。



図 9.1 データベース仮想サーバー一覧

セキュリティグループの一覧を確認できます。

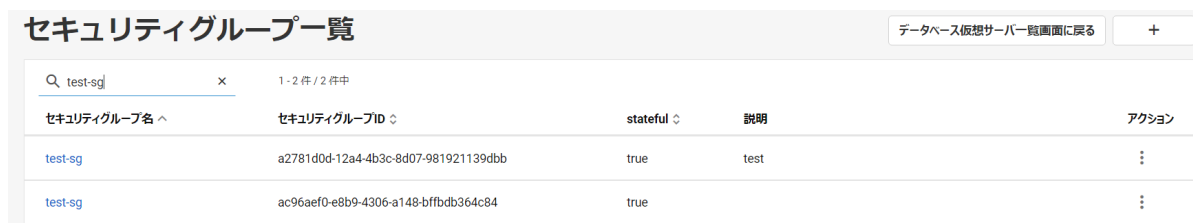


図 9.2 セキュリティグループ一覧

表 9-1 セキュリティグループ一覧テーブル表示内容

No.	項目名	表示内容
1	セキュリティグループ名	セキュリティグループの名前
2	セキュリティグループ ID	セキュリティグループの ID
3	stateful	true/false
4	説明	セキュリティグループの説明
5	アクション	セキュリティグループに対する各種操作

9.1.1 セキュリティグループに対する操作について

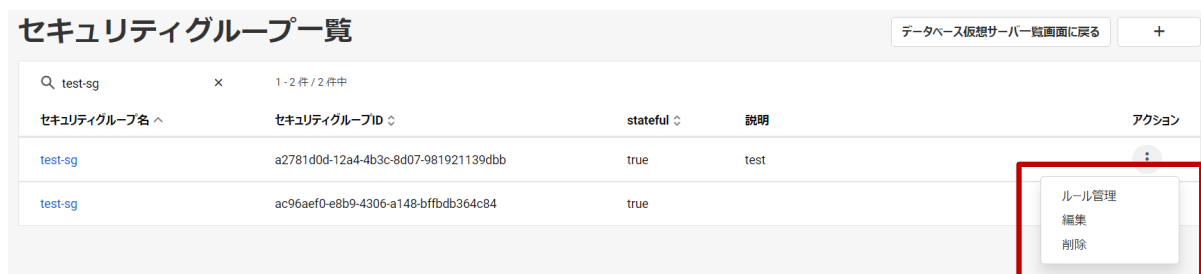


図 9.3 セキュリティグループ一覧アクション

セキュリティグループ一覧の操作として以下を提供します。

- ・ ルール管理

対象のセキュリティグループのプルダウンから「ルール管理」をクリックします。

9.4 章「セキュリティグループルール管理」を参照してください。

- ・ 編集
対象のセキュリティグループのプルダウンから「編集」をクリックします。
9.5章「セキュリティグループ編集」を参照してください。
- ・ 削除
対象のセキュリティグループのプルダウンから「削除」をクリックします。
9.6章「セキュリティグループ削除」を参照してください。

9.2 セキュリティグループ作成

セキュリティグループを新規に作成します。

- (1) セキュリティグループ一覧画面右上の作成アイコン「+」をクリックします。
- (2) 以下を設定して「作成」をクリックします。
 - ・ セキュリティグループ名
 - ・ stateful
 - ・ 説明

図 9.4 セキュリティグループ作成

9.3 セキュリティグループ詳細

セキュリティグループ一覧のセキュリティグループ名をクリックすることで、セキュリティグループ詳細を開くことができます。
セキュリティグループ一覧では表示していない詳細情報を確認します。

方向 ^	IPバージョン	プロトコル	ポート範囲	宛先	説明
egress	IPv4	-	-	-	-
egress	IPv6	-	-	-	-
ingress	IPv4	tcp	26500 - 26500	192.168.110.0/24	-

図 9.5 セキュリティグループ詳細

表 9-2 セキュリティグループ詳細表示内容

No.	分類	項目名	表示内容
1	セキュリティグループ情報	セキュリティグループ名	セキュリティグループの名前
2		セキュリティグループ ID	セキュリティグループの ID
3		stateful	true/false
4		説明	セキュリティグループの説明
5	適用ルール	方向	ingress/egress
6		IP バージョン	IPv4/IPv6
7		プロトコル	TCP/UDP/ICMP/その他のプロトコル
8		ポート範囲	ポート範囲
9		宛先	宛先
10		説明	セキュリティグループルールの説明

9.4 セキュリティグループルール管理

セキュリティグループルールの一覧と状態などの確認と、ルールの追加ができます。

セキュリティグループ一覧で、ルール管理するセキュリティグループのプルダウンから「ルール管理」をクリックするか、セキュリティグループ詳細画面の「ルール管理」ボタンをクリックすることで、ルール管理画面へ遷移できます。

セキュリティグループ ルール管理 一覧画面に戻る

セキュリティグループ名: paas-st-sg-testuser1

0 - 0 件 / 0 件中

ルールの追加

方向	IPバージョン	プロトコル	ポート範囲	宛先	説明	アクション
egress	IPv4		-			削除
egress	IPv6		-			削除
ingress	IPv4	tcp	26500 - 26500	192.168.110.0/24		削除

図 9.6 セキュリティグループルール管理

表 9-3 セキュリティグループルール管理表示内容

No.	項目名	表示内容
1	セキュリティグループ名	セキュリティグループの名前
2	方向	ingress/egress
3	IP バージョン	IPv4/IPv6
4	プロトコル	TCP/UDP/ICMP/その他のプロトコル
5	ポート範囲	ポート範囲
6	宛先	宛先
7	説明	セキュリティグループルールの説明
8	アクション	セキュリティグループルールの削除

9.4.1 セキュリティグループルールの追加

既存のセキュリティグループにルールを新たに追加できます。

(1) セキュリティグループルール管理画面の「ルールの追加」をクリックします。

(2) 以下を設定して「追加」をクリックします。

- ・ 方向（受信/送信）
- ・ ポート番号(下限)
- ・ ポート番号(上限)
- ・ IP プロトコル
- ・ CIDR
- ・ 説明



ルールの追加

方向*	受信
ポート番号(下限)	ポート番号(下限)を入力してください。
ポート番号(上限)	ポート番号(上限)を入力してください。
IPプロトコル	プロトコルを入力してください。
CIDR	IPアドレスを入力してください。
説明	255バイト以内で入力してください。

キャンセル 追加

図 9.7 ルールの追加

9.4.2 セキュリティグループルールの削除

セキュリティグループルールの削除ができます。

(1) セキュリティグループルール管理画面で削除するルールの「削除」ボタンをクリックします。

(2) 削除内容を確認して問題なければ「削除」ボタンをクリックします。



図 9.8 ルール削除の確認

9.5 セキュリティグループ編集

セキュリティグループのグループ名と説明を編集できます。

- (1) セキュリティグループ一覧画面で、編集するセキュリティグループのプルダウンから「編集」をクリックします。
- (2) 以下を設定して「更新」をクリックします。
 - ・ セキュリティグループ名
 - ・ stateful
 - ・ 説明

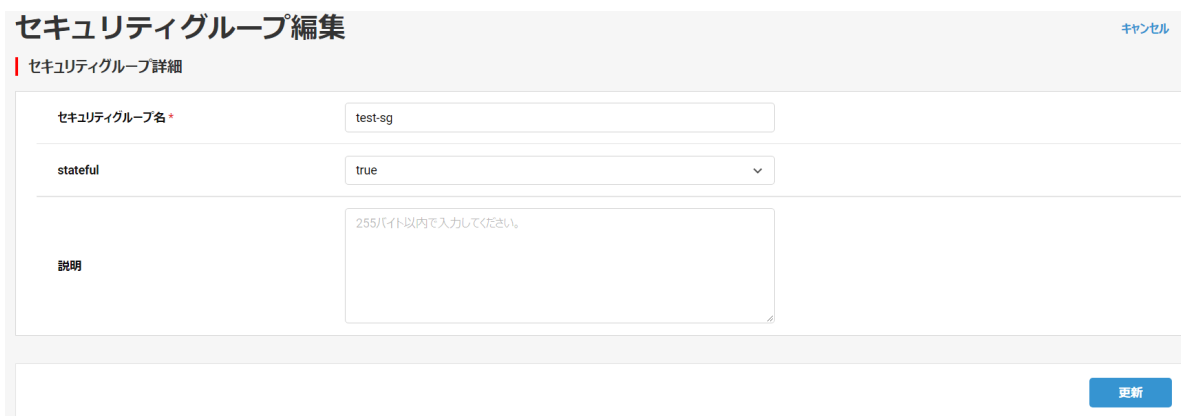


図 9.9 セキュリティグループ編集

9.6 セキュリティグループ削除

セキュリティグループを削除できます。

- (1) セキュリティグループ一覧画面で、削除するセキュリティグループのプルダウンから「削除」をクリックします。
- (2) 削除内容を確認して問題なければ「削除」ボタンをクリックします。

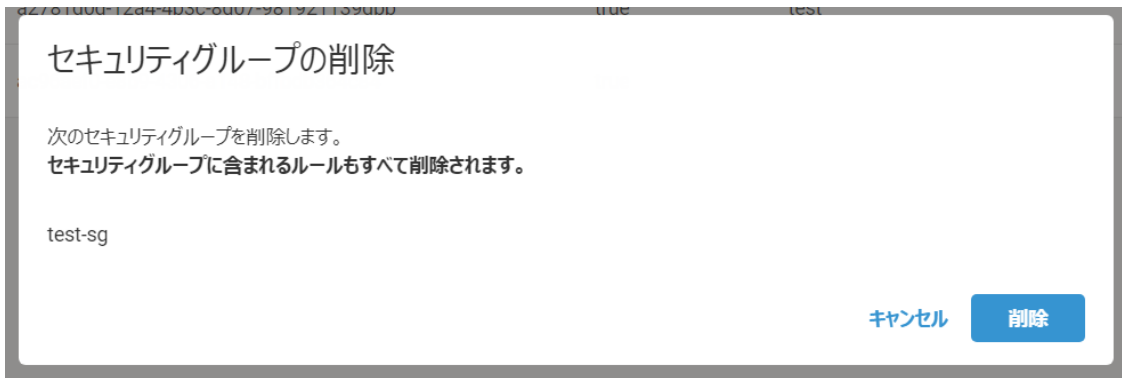


図 9.10 セキュリティグループ削除の確認

第10章 DB スナップショット

10.1 DB スナップショット一覧

データベース仮想サーバー一覧画面上の「スナップショット一覧」ボタンをクリックします。

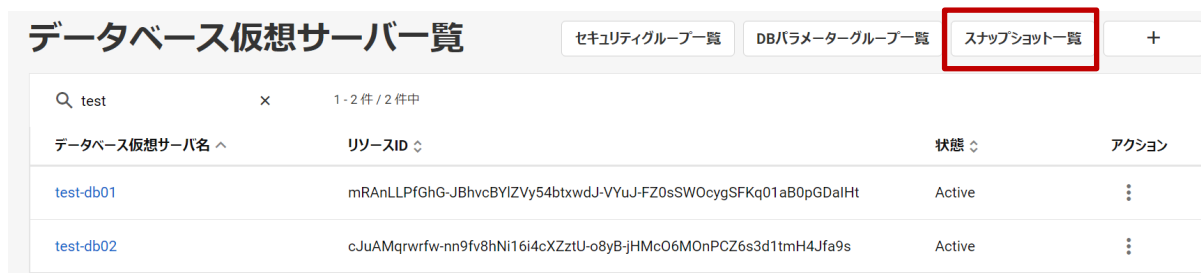


図 10.1 データベース仮想サーバー一覧

DB スナップショットの一覧を確認できます。



図 10.2 DB スナップショット一覧

表 10-1 DB スナップショット一覧テーブル表示内容

No.	項目名	表示内容
1	スナップショット名	DB スナップショットの名前
2	スナップショット ID	DB スナップショットの ID
3	スナップショット元データベース仮想サーバ ID	このスナップショットの元となったデータベース仮想サーバの ID
4	スナップショットタイプ	automated/manual
5	アクション	DB スナップショットに対する各種操作

10.1.1 DB スナップショットに対する操作について



図 10.3 DB スナップショット一覧アクション

DB スナップショット一覧の操作として以下を提供します。

- ・ 詳細
対象の DB スナップショットのプルダウンから「詳細」をクリックします。
10.3 章「DB スナップショット詳細」を参照してください。
- ・ 複製
対象の DB スナップショットのプルダウンから「複製」をクリックします。
10.4 章「DB スナップショット複製」を参照してください。
- ・ 削除
対象の DB スナップショットのプルダウンから「削除」をクリックします。
10.5 章「DB スナップショット削除」を参照してください。

10.2 DB スナップショット作成

DB スナップショットを新規に作成します。

- (1) データベース仮想サーバー一覧画面で、DB スナップショットを作成するデータベースのプルダウンから「スナップショット作成」をクリックします。

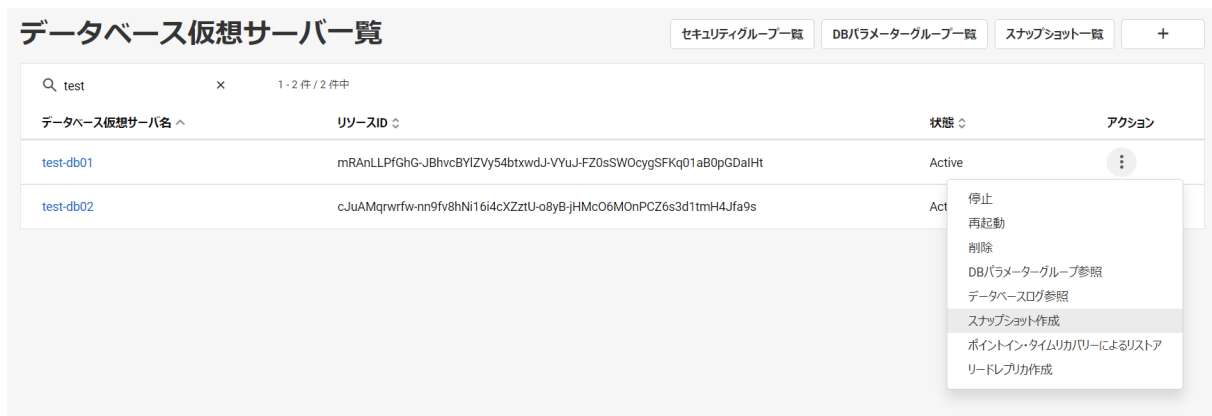


図 10.4 データベース仮想サーバー一覧 (DB スナップショット作成)

- (2) 以下を設定して「作成」をクリックします。

- ・ DB スナップショット名
- ・ 説明

図 10.5 DB スナップショット作成

10.3 DB スナップショット詳細

DB スナップショット一覧の DB スナップショット名をクリックすることで、DB スナップショット詳細を開くことができます。
DB スナップショット一覧では表示していない詳細情報を確認します。

スナップショット名	auto-snapshot-cJuAMqrwrfw-nn9fv8hNi16i4cXZztU-o8yB-jHMcO6MOnPCZ6s3d1tmH4Jfa9s-2022-10-24-13-35-27
スナップショットID	buDPvxjFDWk-teOkgfvDtnStTrxAT2n-BR8v-oZ1vWpjXFpDtcRPWm21RibEWlg
説明	
status	Available
スナップショット元データベース仮想サーバID	cJuAMqrwrfw-nn9fv8hNi16i4cXZztU-o8yB-jHMcO6MOnPCZ6s3d1tmH4Jfa9s
スナップショットタイプ	automated
作成日時	2022-10-24T13:38:02Z

図 10.6 DB スナップショット詳細

表 10-2 DB スナップショット詳細表示内容

No.	項目名	表示内容
1	スナップショット名	DB スナップショットの名前
2	スナップショット ID	DB スナップショットの ID
3	説明	DB スナップショットの説明
4	status	DB スナップショットのステータス
5	スナップショット元データベース仮想サーバ ID	このスナップショットの元となったデータベース仮想サーバの ID
6	スナップショットタイプ	DB スナップショットの種類
7	作成日時	DB スナップショットの作成日時

10.4 DB スナップショット複製

DB スナップショットを複製することができます。

(1) DB スナップショット一覧画面で、複製する DB スナップショットのプルダウンから「複製」をクリックします。

(2) 以下を設定して「作成」をクリックします。

- ・ DB スナップショット名
- ・ 説明

スナップショット作成

1 スナップショット詳細 2 確認

スナップショット名 * 255バイト以内で入力してください。

複製元スナップショットID * tZPzVPtFSMv-MkkpyWShj62gzqJV03o-XTRt-9mShEnd95DmvX09sWsDwhbszTp

説明 255バイト以内で入力してください。

次へ

図 10.7 DB スナップショット複製

10.5 DB スナップショット削除

DB スナップショットを削除できます。

- (1) DB スナップショット一覧画面で、削除する DB スナップショットのプルダウンから「削除」をクリックします。
- (2) 削除内容を確認して問題なければ「削除」ボタンをクリックします。

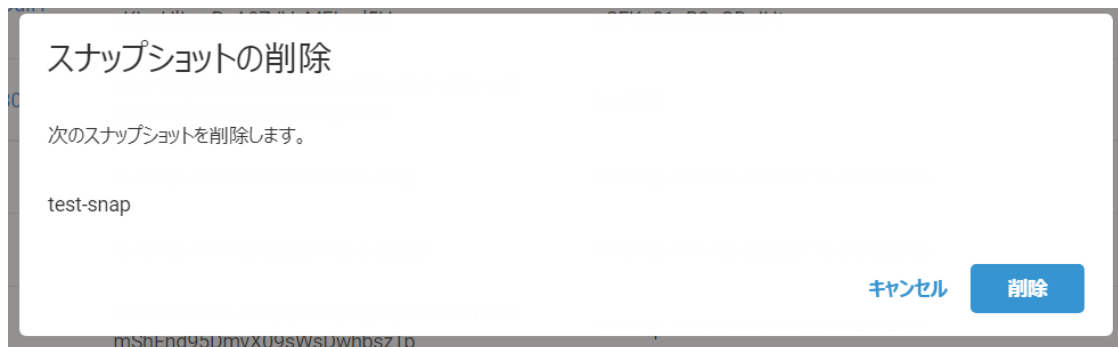
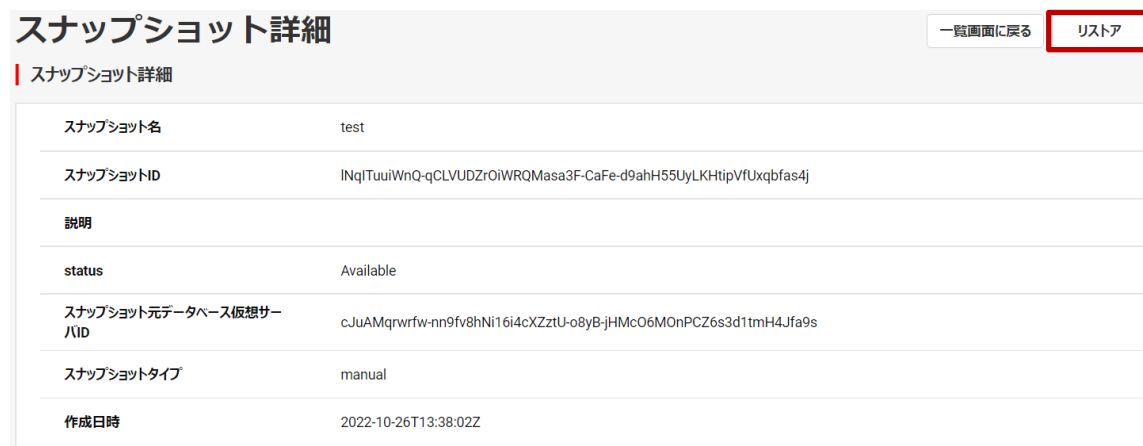


図 10.8 DB スナップショット削除の確認

第11章 データベース仮想サーバの復旧

11.1 DB スナップショットからのデータベース仮想サーバの復旧

(1) 復旧に用いる DB スナップショットの詳細画面右上の「リストア」ボタンをクリックします。



The screenshot shows a web interface for 'スナップショット詳細' (Snapshot Details). At the top right, there are two buttons: '一覧画面に戻る' (Return to list view) and 'リストア' (Restore), with the latter being highlighted by a red box. Below the buttons is a table with the following data:

スナップショット名	test
スナップショットID	INqITuuiWnQ-qCLVUDZrOiWRQMasa3F-CaFe-d9ahH55UyLKHtipVFUxqbfas4j
説明	
status	Available
スナップショット元データベース仮想サーバID	cJuAMqwrfw-nn9fv8hNi16i4cXZztU-o8yB-jHMcO6MOnPCZ6s3d1tmH4Jfa9s
スナップショットタイプ	manual
作成日時	2022-10-26T13:38:02Z

図 11.1 DB スナップショット詳細(リストア)

(2) 以下を設定して「次へ」をクリックします。

- ・ データベース仮想サーバ名
- ・ データベース管理ユーザー名
- ・ データベース管理パスワード
- ・ データベース管理パスワード (確認用)
- ・ データディスクのサイズ (GB)
- ・ バックアップ (する/しない)
- ・ バックアップ保存期間 (日: 1~10)
- ・ 冗長化 (有効/無効)
- ・ 説明

また、リストア元スナップショット名とリストア元スナップショット ID が表示されています。

データベース仮想サーバ作成

[キャンセル](#)

1 データベース仮想サーバ情報 2 フレーバータイプ 3 サブネット 4 セキュリティグループ 5 確認

データベース仮想サーバ名 *	<input type="text" value="半角英数字・ハイフン, 255文字以内で入力してください。"/>
データベース管理ユーザー名 *	<input type="text" value="半角英数字・アンダースコア, 63文字以内で入力してください。"/>
データベース管理パスワード *	<input type="text" value="1024文字以内で入力してください。"/>
データベース管理パスワード(確認用) *	<input type="text" value="1024文字以内で入力してください。"/>
データディスクのサイズ(GB) *	<input type="text" value="10の倍数, 10~10000の間で入力してください。"/>
バックアップ *	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
バックアップ保存期間(日) *	<input type="text" value="1"/>
冗長化 *	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
説明	<input type="text" value="1024文字以内で入力してください。"/>
リストア元スナップショット名	test
リストア元スナップショットID	INqITuuiWnQ-qCLVUDZrOiWRQMasa3F-CaFe-d9ahH55UyLKHtipVfUxqbfas4j

[次へ](#)

図 11.2 データベース仮想サーバ情報(スナップショットリストア)

(3) 以降は 3.2 データベース仮想サーバ作成方法と同じです。3.2 章を参照してください。

11.2 ポイントイン・タイムリカバリーによるデータベース仮想サーバの復旧

(1) データベース仮想サーバー一覧画面で、復旧するデータベースのプルダウンから「ポイントイン・タイムリカバリーによるリストア」をクリックします。

データベース仮想サーバー一覧

セキュリティグループ一覧 DBパラメーターグループ一覧 スナップショット一覧 +

test x 1 - 2 件 / 2 件中

データベース仮想サーバ名	リソースID	状態	アクション
test-db001	test-db01	Restart_Required	⋮
test-db02	cJuAMqrwrfw-nn9fv8hNi16i4cXZztU-o8yB-jHMcO6MOnPCZ6s3d1tmH4Jfa9s		

- 停止
- 再起動
- 削除
- DBパラメーターグループ参照
- データベースログ参照
- スナップショット作成
- ポイントイン・タイムリカバリーによるリストア
- リードレプリカ作成

図 11.3 データベース仮想サーバー一覧

(2) 以下を設定して「次へ」をクリックします。

- ・ データベース仮想サーバ名
- ・ データベース管理ユーザー名
- ・ データベース管理パスワード
- ・ データベース管理パスワード（確認用）
- ・ データディスクのサイズ（GB）
- ・ バックアップ（する/しない）
- ・ バックアップ保存期間（日：1～10）
- ・ 冗長化（有効/無効）
- ・ 説明
- ・ 最新時刻を指定（する/しない）
- ・ 時刻指定

また、リストア元データベース仮想サーバ名とリストア元データベース仮想サーバ ID が表示されています。

データベース仮想サーバ作成

キャンセル

1 データベース仮想サーバ情報 2 フレーバタイプ 3 サブネット 4 セキュリティグループ 5 確認

データベース仮想サーバ名 *	<input type="text" value="半角英数字・ハイフン, 255文字以内で入力してください。"/>
データベース管理ユーザー名 *	<input type="text" value="半角英数字・アンダースコア, 63文字以内で入力してください。"/>
データベース管理パスワード *	<input type="text" value="1024文字以内で入力してください。"/>
データベース管理パスワード(確認用) *	<input type="text" value="1024文字以内で入力してください。"/>
データディスクのサイズ(GB) *	<input type="text" value="10の倍数, 10~10000の間で入力してください。"/>
バックアップ *	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
バックアップ保存期間(日) *	<input type="text" value="1"/>
冗長化 *	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
説明	<input type="text" value="1024文字以内で入力してください。"/>
リストア元データベース仮想サーバ名	test-db001
リストア元データベース仮想サーバID	test-db01
最新時刻を指定 *	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない
時刻指定 *	<input type="text" value="2022-10-28T05:31:10Z"/>

図 11.4 データベース仮想サーバ情報(ポイントイン・タイムリカバリー)

(3) 以降は 3.2 データベース仮想サーバ作成方法と同じです。3.2 章を参照してください。

第12章 リードレプリカの作成

12.1 リードレプリカの作成

(1) データベース仮想サーバー一覧画面で、リードレプリカを作成するデータベースのプルダウンから「リードレプリカ作成」をクリックします。

注: リードレプリカの元となるデータベース仮想サーバは、冗長構成かつ自動バックアップがオンになっている必要があります。



図 12.1 データベース仮想サーバー一覧

(2) 以下を設定して「次へ」をクリックします。

- データベース仮想サーバ名
- データベース管理ユーザー名
- データベース管理パスワード
- データベース管理パスワード (確認用)
- データディスクのサイズ (GB)
- バックアップ (する/しない)
- バックアップ保存期間 (日: 1~10)
- 冗長化 (有効/無効)
- 説明

また、参照元データベース仮想サーバ名と参照元データベース仮想サーバ ID が表示されています。

データベース仮想サーバ作成

[キャンセル](#)

データベース仮想サーバ情報
 フレーバータイプ
 サブネット
 セキュリティグループ
 確認

データベース仮想サーバ名 *	<input type="text" value="半角英数字・ハイフン, 255文字以内で入力してください。"/>
データベース管理ユーザー名 *	<input type="text" value="半角英数字・アンダースコア, 63文字以内で入力してください。"/>
データベース管理パスワード *	<input type="text" value="1024文字以内で入力してください。"/>
データベース管理パスワード(確認用) *	<input type="text" value="1024文字以内で入力してください。"/>
データディスクのサイズ(GB) *	<input type="text" value="10の倍数, 10~10000の間で入力してください。"/>
バックアップ *	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない
バックアップ保存期間(日) *	<input type="text" value="1"/>
冗長化 *	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
説明	<input type="text" value="1024文字以内で入力してください。"/>
参照元データベース仮想サーバ名	test-db001
参照元データベース仮想サーバID	test-db01

[次へ](#)

図 12.2 データベース仮想サーバ情報(リードレプリカ)

(3) 以降は 3.2 データベース仮想サーバ作成方法と同じです。3.2 章を参照してください。

第13章 DB イベント通知

13.1 イベント通知登録一覧

データベース仮想サーバー一覧画面上の「イベント通知設定」ボタンをクリックします。



図 13.1 データベース仮想サーバー一覧

イベント通知登録の一覧を確認できます。

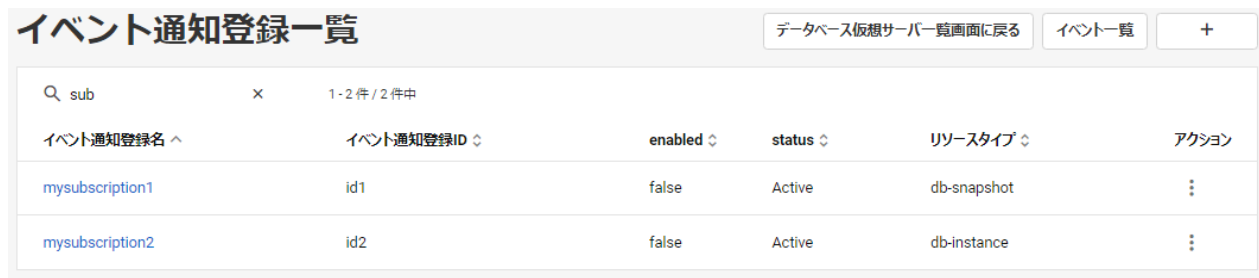


図 13.2 イベント通知登録一覧

表 13-1 イベント通知登録一覧テーブル表示内容

No.	項目名	表示内容
1	イベント通知登録名	イベント通知登録の名前
2	イベント通知登録 ID	イベント通知登録の ID
3	enabled	true/false
4	status	Creating Modifying Deleting Active
5	リソースタイプ	db-instance db-snapshot
6	アクション	イベント通知登録に対する各種操作

13.1.1 イベント通知登録に対する操作について

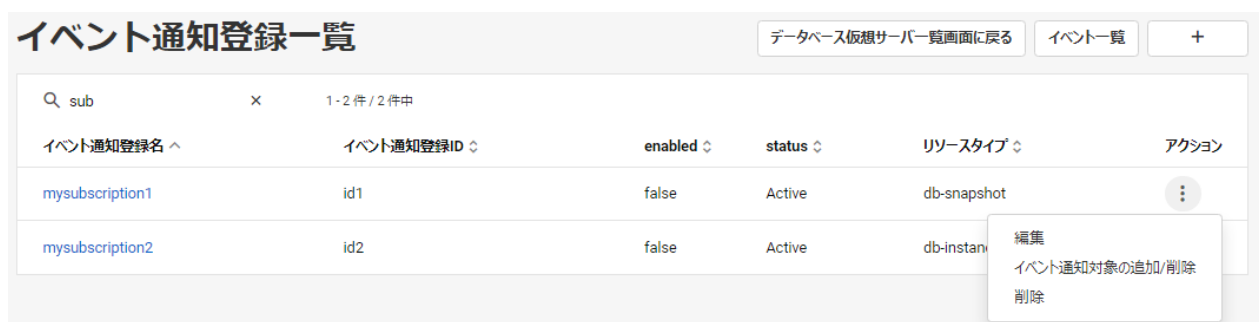


図 13.3 イベント通知登録一覧アクション

イベント通知登録一覧の操作として以下を提供します。

- ・ 編集
対象のイベント通知登録のプルダウンから「編集」をクリックします。
13.4 章「イベント通知登録編集」を参照してください。
- ・ イベント通知対象の追加/削除
対象のイベント通知登録のプルダウンから「イベント通知対象の追加/削除」をクリックします。
13.5 章「イベント通知対象の追加/削除」を参照してください。
- ・ 削除
対象のイベント通知登録のプルダウンから「削除」をクリックします。
13.6 章「イベント通知登録削除」を参照してください。

13.2 イベント通知登録作成

イベント通知登録を新規に作成します。

- (1) イベント通知登録一覧画面右上の作成アイコン「+」をクリックします。
- (2) 以下を設定して「作成」をクリックします。
 - ・ イベント通知登録名
 - ・ enabled
 - ・ リソースタイプ
 - ・ イベントカテゴリ
 - ・ イベント通知対象ソース
 - ・ 説明

イベント通知登録作成

キャンセル

1 イベント通知登録詳細 — 2 確認

イベント通知登録名 *	<input type="text" value="255バイト以内で入力してください。"/>																														
enabled *	<input checked="" type="radio"/> true <input type="radio"/> false																														
リソースタイプ *	<input type="radio"/> all <input checked="" type="radio"/> db-instance <input type="radio"/> db-snapshot																														
イベントカテゴリ	<table><tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>db-instance</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>availability</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>autoscale</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>backup</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>configuration change</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>creation</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>deletion</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>failover</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>failure</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>low storage</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>maintenance</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>recovery</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>restoration</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>read replicas</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>notification</td></tr></table>	<input checked="" type="checkbox"/>	db-instance	<input type="checkbox"/>	availability	<input type="checkbox"/>	autoscale	<input type="checkbox"/>	backup	<input type="checkbox"/>	configuration change	<input type="checkbox"/>	creation	<input type="checkbox"/>	deletion	<input type="checkbox"/>	failover	<input type="checkbox"/>	failure	<input type="checkbox"/>	low storage	<input type="checkbox"/>	maintenance	<input type="checkbox"/>	recovery	<input type="checkbox"/>	restoration	<input type="checkbox"/>	read replicas	<input type="checkbox"/>	notification
<input checked="" type="checkbox"/>	db-instance																														
<input type="checkbox"/>	availability																														
<input type="checkbox"/>	autoscale																														
<input type="checkbox"/>	backup																														
<input type="checkbox"/>	configuration change																														
<input type="checkbox"/>	creation																														
<input type="checkbox"/>	deletion																														
<input type="checkbox"/>	failover																														
<input type="checkbox"/>	failure																														
<input type="checkbox"/>	low storage																														
<input type="checkbox"/>	maintenance																														
<input type="checkbox"/>	recovery																														
<input type="checkbox"/>	restoration																														
<input type="checkbox"/>	read replicas																														
<input type="checkbox"/>	notification																														
イベント通知対象ソース	<table><thead><tr><th><input checked="" type="checkbox"/></th><th>db-instance</th><th>ID</th></tr></thead><tbody><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>test</td><td>(PAwJHfwKElP-ZyatHnBwDrzmgk2KmFR-JVIZ-YIXVZ6DgAyYr3i7CWE01vE0Aqg)</td></tr></tbody></table>	<input checked="" type="checkbox"/>	db-instance	ID	<input type="checkbox"/>	test	(PAwJHfwKElP-ZyatHnBwDrzmgk2KmFR-JVIZ-YIXVZ6DgAyYr3i7CWE01vE0Aqg)																								
<input checked="" type="checkbox"/>	db-instance	ID																													
<input type="checkbox"/>	test	(PAwJHfwKElP-ZyatHnBwDrzmgk2KmFR-JVIZ-YIXVZ6DgAyYr3i7CWE01vE0Aqg)																													
説明	<input type="text" value="1024バイト以内で入力してください。"/>																														

[次へ](#)

図 13.4 イベント通知登録作成

13.3 イベント通知登録詳細

イベント通知登録一覧のイベント通知登録名をクリックすることで、イベント通知登録詳細を開くことができます。イベント通知登録一覧では表示していない詳細情報を確認します。

イベント通知登録詳細

[一覧画面に戻る](#)[編集](#)[イベント通知対象の追加/削除](#)

イベント通知登録詳細

イベント通知登録名	test
イベント通知登録ID	weKfelwGreG-vy2NVB5gNgW1OwsbcAu-YZS2-IKE29gYwRwEc7O1pXRTRXJd944
enabled	false
リソースタイプ	db-instance
イベントカテゴリ	availability backup creation
イベント通知対象ソース	PAwJHfwKEIP-ZyatHnBwDrzmgk2KmFR-JVIZ-YiXVZ6DgAyYr3i7CWE01vE0Aqq
status	Active
作成日時	2023-01-27T10:08:45Z
説明	snapshot

図 13.5 イベント通知登録詳細

表 13-2 イベント通知登録詳細表示内容

No.	項目名	表示内容
1	イベント通知登録名	イベント通知登録の名前
2	イベント通知登録 ID	イベント通知登録の ID
3	enabled	true/false
4	リソースタイプ	db-instance db-snapshot
5	イベントカテゴリ	通知するイベントカテゴリ
6	イベント通知対象ソース	通知するイベントの発生元リソース
7	status	Creating Modifying Deleting Active
8	作成日時	イベント通知登録の作成日時
9	説明	イベント通知登録の説明

13.4 イベント通知登録編集

イベント通知登録の編集ができます。

- (1) イベント通知登録一覧画面で、編集するイベント通知登録のプルダウンから「編集」をクリックするか、イベント通知登録詳細画面の「編集」ボタンをクリックすることで、イベント通知登録編集画面へ遷移できます。

イベント通知登録一覧

[データベース仮想サーバー一覧画面に戻る](#)[イベント一覧](#)[+](#)

イベント通知登録名 ^	イベント通知登録ID ^	enabled ^	status ^	リソースタイプ ^	アクション
mysubscription1	id1	false	Active	db-snapshot	⋮
mysubscription2	id2	false	Active	db-instan	編集 イベント通知対象の追加/削除 削除

図 13.6 イベント通知登録一覧（編集）

イベント通知登録詳細

[一覧画面に戻る](#)[編集](#)[イベント通知対象の追加/削除](#)

イベント通知登録詳細

イベント通知登録名	test
イベント通知登録ID	weKfelwGreG-vy2NVB5gNgW1OwsbcAu-YZS2-IKE29gYwRwEc701pXRTRXJd944
enabled	false
リソースタイプ	db-instance
イベントカテゴリ	availability backup creation
イベント通知対象ソース	PAwJHfwKEIP-ZyatHnBwDrzmgk2KmFR-JVIZ-YiXVZ6DgAyYr3i7CWE01vE0Aqq
status	Active
作成日時	2023-01-27T10:08:45Z
説明	snapshot

図 13.7 イベント通知登録詳細（編集）

(2) 以下を設定して「更新」をクリックします。

- ・ イベント通知登録名
- ・ イベント通知登録 ID
- ・ enabled
- ・ リソースタイプ
- ・ イベントカテゴリ
- ・ 説明

イベント通知登録編集

キャンセル

イベント通知登録詳細

イベント通知登録名 *	<input type="text" value="test"/>																														
イベント通知登録ID *	<input type="text" value="weKfelwGreG-vy2NVB5gNgW1OwsbcAu-YZS2-IKE29gYwRwEc701pXRTRXJi"/>																														
enabled *	<input type="radio"/> true <input checked="" type="radio"/> false																														
リソースタイプ *	<input checked="" type="radio"/> db-instance <input type="radio"/> db-snapshot																														
イベントカテゴリ	<table><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>db-instance</td></tr><tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>availability</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>autoscale</td></tr><tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>backup</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>configuration change</td></tr><tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>creation</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>deletion</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>failover</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>failure</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>low storage</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>maintenance</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>recovery</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>restoration</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>read replicas</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/></td><td>notification</td></tr></table>	<input type="checkbox"/>	db-instance	<input checked="" type="checkbox"/>	availability	<input type="checkbox"/>	autoscale	<input checked="" type="checkbox"/>	backup	<input type="checkbox"/>	configuration change	<input checked="" type="checkbox"/>	creation	<input type="checkbox"/>	deletion	<input type="checkbox"/>	failover	<input type="checkbox"/>	failure	<input type="checkbox"/>	low storage	<input type="checkbox"/>	maintenance	<input type="checkbox"/>	recovery	<input type="checkbox"/>	restoration	<input type="checkbox"/>	read replicas	<input type="checkbox"/>	notification
<input type="checkbox"/>	db-instance																														
<input checked="" type="checkbox"/>	availability																														
<input type="checkbox"/>	autoscale																														
<input checked="" type="checkbox"/>	backup																														
<input type="checkbox"/>	configuration change																														
<input checked="" type="checkbox"/>	creation																														
<input type="checkbox"/>	deletion																														
<input type="checkbox"/>	failover																														
<input type="checkbox"/>	failure																														
<input type="checkbox"/>	low storage																														
<input type="checkbox"/>	maintenance																														
<input type="checkbox"/>	recovery																														
<input type="checkbox"/>	restoration																														
<input type="checkbox"/>	read replicas																														
<input type="checkbox"/>	notification																														
status	Active																														
作成日時	2023-01-27T10:08:45Z																														
説明	<input type="text" value="snapshot"/>																														
イベント通知対象ソース	PAwJHfwKEIP-ZyatHnBwDrzmgk2KmFR-JVIZ-YiXVZ6DgAyYr3i7CWE01vE0Aqq																														

[更新](#)

図 13.8 イベント通知登録編集

13.5 イベント通知対象の追加/削除

イベント通知対象の追加、もしくは削除ができます。

(1) イベント通知登録一覧画面で、追加/削除するイベント通知登録のプルダウンから「イベント通知対象の追加/削除」をクリックするか、イベント通知登録詳細画面の「イベント通知対象の追加/削除」ボタンをクリックすることで、イベント通知対象の追加/削除画面へ遷移できます。



図 13.9 イベント通知登録一覧（イベント通知対象の追加/削除）



図 13.10 イベント通知登録詳細（イベント通知対象の追加/削除）

(2) 以下を設定して「更新」をクリックします。

- ・ イベント通知対象の追加/削除
- ・ イベント通知対象ソース

イベント通知対象の追加/削除

キャンセル

イベント通知登録詳細

イベント通知登録名	test						
イベント通知登録ID	weKfelwGreG-vy2NVB5gNgW10wsbcAu-YZS2-IKE29gYwRwEc701pXRTRXJd944						
enabled	false						
リソースタイプ	db-instance						
イベントカテゴリ	availability backup creation						
status	Active						
作成日時	2023-01-27T10:08:45Z						
説明	snapshot						
イベント通知対象ソース	PAwJHfwKElP-ZyatHnBwDrzmgk2KmFR-JVIZ-YIXVZ6DgAyYr3i7CWE01vE0Aqq						
イベント通知対象の追加/削除*	<input type="radio"/> add <input checked="" type="radio"/> remove						
イベント通知対象ソース(追加/削除)	<table><thead><tr><th><input type="checkbox"/></th><th>db-instance</th><th>ID</th></tr></thead><tbody><tr><td><input checked="" type="checkbox"/></td><td>test</td><td>(PAwJHfwKElP-ZyatHnBwDrzmgk2KmFR-JVIZ-YIXVZ6DgAyYr3i7CWE01vE0Aqq)</td></tr></tbody></table>	<input type="checkbox"/>	db-instance	ID	<input checked="" type="checkbox"/>	test	(PAwJHfwKElP-ZyatHnBwDrzmgk2KmFR-JVIZ-YIXVZ6DgAyYr3i7CWE01vE0Aqq)
<input type="checkbox"/>	db-instance	ID					
<input checked="" type="checkbox"/>	test	(PAwJHfwKElP-ZyatHnBwDrzmgk2KmFR-JVIZ-YIXVZ6DgAyYr3i7CWE01vE0Aqq)					

[更新](#)

図 13.11 イベント通知対象の追加/削除

13.6 イベント通知登録削除

イベント通知登録を削除できます。

- (1) イベント通知登録一覧画面で、削除するイベント通知登録のプルダウンから「削除」をクリックします。
- (2) 削除内容を確認して問題なければ「削除」ボタンをクリックします。

イベント通知登録の削除

次のイベント通知登録を削除します。

test

[キャンセル](#) [削除](#)

図 13.12 イベント通知登録削除の確認

13.7 イベント通知一覧

イベント通知登録一覧画面右上の「イベント一覧」をクリックします。

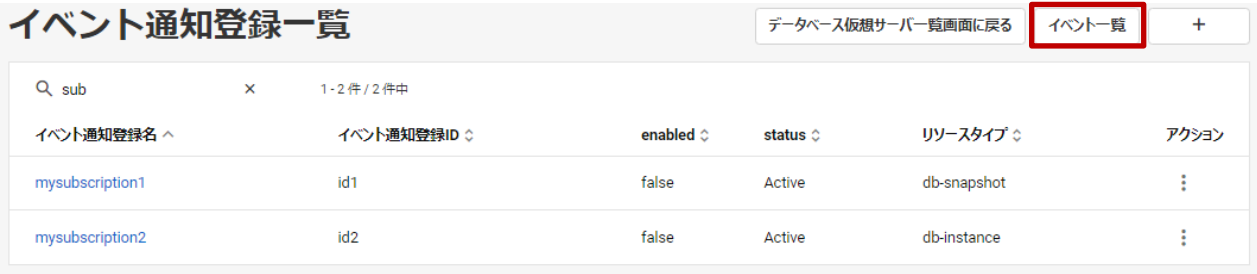


図 13.13 イベント通知登録一覧（イベント一覧）

イベント通知の一覧を確認できます。

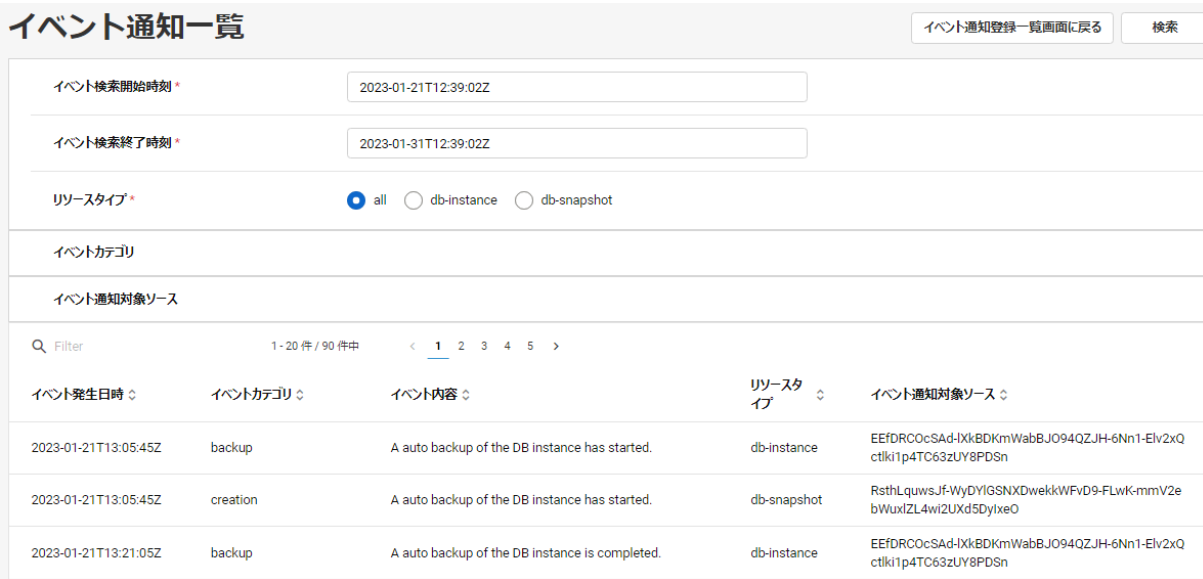


図 13.14 イベント通知一覧

表 13-3 イベント通知一覧テーブル表示内容

No.	分類	項目名	表示内容
1	イベント通知の絞り込み	イベント検索開始時刻	イベント検索のための開始時刻
2		イベント検索終了時刻	イベント検索のための終了時刻
3		リソースタイプ	db-instance db-snapshot
4		イベントカテゴリ	検索するイベントカテゴリ
5		イベント通知対象ソース	イベントを検索したいリソース ID
6	イベント一覧	イベント発生日時	イベントの発生日時
7		イベントカテゴリ	イベントのカテゴリ
8		イベント内容	イベントの内容
9		リソースタイプ	db-instance db-snapshot
10		イベント発生日ソース ID	イベントが発生したリソース ID

以下を設定して表示するイベントの絞り込みができます。

- ・ イベント検索開始時刻
- ・ イベント検索終了時刻
- ・ リソースタイプ
- ・ イベントカテゴリ

- ・ イベント通知対象ソース

第14章 アラーム

14.1 アラーム一覧

性能監視画面上の「アラーム設定」ボタンをクリックします。



図 14.1(a) 性能監視

プロジェクト内に作成されたアラームの一覧と状態などが確認できます。



図 14.1(b) アラーム一覧

表 14-1 アラーム一覧テーブル表示内容

No.	項目名	表示内容
1	アラーム名	アラームの名前
2	タイプ	threshold / combination
3	enabled	true/false
4	最新の状態	ok / insufficient data / alarm
5	アクション	アラームに対する各種操作

14.1.1 アラームに対する操作について



図 14.2 アラーム一覧アクション

アラーム一覧の操作として以下を提供します。

- ・ 編集
対象のアラームのプルダウンから「編集」をクリックします。
14.4 章「アラーム編集」を参照してください。
- ・ 履歴
対象のアラームのプルダウンから「履歴」をクリックします。
14.5 章「アラーム履歴」を参照してください。
- ・ 削除
対象のアラームのプルダウンから「削除」をクリックします。
14.6 章「アラーム削除」を参照してください。

14.2 アラーム作成

アラームを新たに作成します。

- (1) アラーム一覧画面右上の作成アイコン「+」をクリックします。
- (2) 以下を設定して「次へ」をクリックします。
 - ・ アラームタイプ (threshold / combination)



図 14.3 アラームタイプ

- (3) 以下を設定して「次へ」をクリックします。
 - ・ アラーム名
 - ・ 有効/無効
 - ・ アクションの実行方式 (再実行する/再実行しない)
 - ・ 説明

アラーム作成 キャンセル

アラームタイプ
 アラーム詳細
 監視項目
 アラーム評価スケジュール
 アクション設定
 確認

アラーム名*

有効/無効* 有効 無効

アクションの実行方式* 再実行する 再実行しない

説明

図 14.4 アラーム詳細

(4) 以下を設定して「次へ」をクリックします。
アラームタイプ「threshold」を選択した場合

アラーム作成 キャンセル

アラームタイプ
 アラーム詳細
 監視項目
 アラーム評価スケジュール
 アクション設定
 確認

監視項目

監視項目*

しきい値

しきい値*

しきい値とサンプル値の比較演算子

しきい値を判定する間隔(秒)

しきい値を評価するための期間数

しきい値と比較する統計

異常にサンプル数が少ないデータポイントの扱い 除外する 除外しない

クエリー クエリーの追加

フィールド名	比較演算子	値	アクション

図 14.5 監視項目

- 監視項目

「設定」ボタンをクリックするとポップアップが表示されますので、以下を設定します。

図 14.6 監視項目の設定

- ・ リソース種別
- ・ データベース

- ・ しきい値

図 14.7 しきい値

- ・ しきい値
- ・ しきい値とサンプル値の比較演算子
(等しいより大きいより大きいか等しいより小さいより小さいか等しい)
- ・ しきい値を判定する間隔(秒)
- ・ しきい値を評価するための期間数
- ・ しきい値と比較する統計 (平均値/サンプル数/最大値/最小値/合計値)
- ・ 異常にサンプル数が少ないデータポイントの扱い (除外する/除外しない)

- ・ クエリー

「クエリーの追加」ボタンをクリックするとポップアップが表示されますので、以下を設定します。



図 14.8 アラーム作成（クエリの追加）



図 14.9 クエリの追加

- ・ フィールド名（プロジェクト名/ユーザー名）
- ・ 比較演算子
（等しい/より大きい/より大きい/等しい/より小さい/より小さい/等しい）
- ・ 値

アラームタイプ「combination」を選択した場合

- ・ 組み合わせの評価方法（AND 条件/OR 条件）



図 14.10 アラーム選択（組み合わせの評価方法）

- ・ 組み合わせるアラーム一覧

「アラームの追加」ボタンをクリックするとポップアップが表示されますので、以下を設定します。



図 14.11 アラーム選択（組み合わせるアラーム一覧）



図 14.12 アラームの追加

- ・ 追加するアラーム

(5) 以下を設定して「次へ」をクリックします。



図 14.13 アラーム評価スケジュール（非設定）

アラームタイプ「threshold」「combination」どちらを選択した場合でも設定

- ・ 設定/非設定

「設定」を選択した場合、評価スケジュールを追加できます。

「評価スケジュールの追加」ボタンをクリックするとポップアップが表示されますので、以下を設定します。



図 14.14 アラーム評価スケジュール（設定）

評価スケジュールの追加

基本設定

設定名 *

説明

開始日時

指定方法 * 毎月 毎週 毎日 毎時 CRON形式

日にち * 日

時 * 時

分 * 分

評価を継続する期間 (秒) *

タイムゾーン * ▼

図 14.15 評価スケジュールの追加

- ・ 基本設定
 - ・ 設定名
 - ・ 説明
- ・ 開始日時

「毎月」を選択した場合は、以下を設定します。

 - ・ 日にち
 - ・ 時
 - ・ 分
 - ・ 評価を継続する期間 (秒)
 - ・ タイムゾーン

開始日時

指定方法*	<input checked="" type="radio"/> 毎月 <input type="radio"/> 毎週 <input type="radio"/> 毎日 <input type="radio"/> 毎時 <input type="radio"/> CRON形式
日にち*	<input type="text" value="1~31の間で入力してください。"/> <input type="button" value="日"/>
時*	<input type="text" value="0~23の間で入力してください。"/> <input type="button" value="時"/>
分*	<input type="text" value="0~59の間で入力してください。"/> <input type="button" value="分"/>
評価を継続する期間 (秒)*	<input type="text" value="60~86400の間で入力してください。"/>
タイムゾーン*	<input type="text" value="UTC(+00:00) UTC"/> <input type="button" value="▼"/>

キャンセル

追加

図 14.16 開始日時（毎月）

「毎週」を選択した場合は、以下を設定します。

- ・ 曜日
- ・ 時
- ・ 分
- ・ 評価を継続する期間（秒）
- ・ タイムゾーン

開始日時

指定方法*	<input type="radio"/> 毎月 <input checked="" type="radio"/> 毎週 <input type="radio"/> 毎日 <input type="radio"/> 毎時 <input type="radio"/> CRON形式
曜日*	<input type="checkbox"/> 月 <input type="checkbox"/> 火 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 木 <input type="checkbox"/> 金 <input type="checkbox"/> 土 <input type="checkbox"/> 日
時*	<input type="text" value="0~23の間で入力してください。"/> <input type="button" value="時"/>
分*	<input type="text" value="0~59の間で入力してください。"/> <input type="button" value="分"/>
評価を継続する期間 (秒)*	<input type="text" value="60~86400の間で入力してください。"/>
タイムゾーン*	<input type="text" value="UTC(+00:00) UTC"/> <input type="button" value="▼"/>

キャンセル

追加

図 14.17 開始日時（毎週）

「毎日」を選択した場合は、以下を設定します。

- ・ 時
- ・ 分
- ・ 評価を継続する期間（秒）
- ・ タイムゾーン

開始日時

指定方法*	<input type="radio"/> 毎月 <input type="radio"/> 毎週 <input checked="" type="radio"/> 毎日 <input type="radio"/> 毎時 <input type="radio"/> CRON形式
時*	<input type="text" value="0~23の間で入力してください。"/> <input type="button" value="時"/>
分*	<input type="text" value="0~59の間で入力してください。"/> <input type="button" value="分"/>
評価を継続する期間 (秒)*	<input type="text" value="60~86400の間で入力してください。"/>
タイムゾーン*	<input type="text" value="UTC(+00:00) UTC"/> <input type="button" value="▼"/>

図 14.18 開始日時（毎日）

「毎時」を選択した場合は、以下を設定します。

- ・ 分
- ・ 評価を継続する期間（秒）
- ・ タイムゾーン

開始日時

指定方法*	<input type="radio"/> 毎月 <input type="radio"/> 毎週 <input type="radio"/> 毎日 <input checked="" type="radio"/> 毎時 <input type="radio"/> CRON形式
分*	<input type="text" value="0~59の間で入力してください。"/> <input type="button" value="分"/>
評価を継続する期間 (秒)*	<input type="text" value="60~86400の間で入力してください。"/>
タイムゾーン*	<input type="text" value="UTC(+00:00) UTC"/> <input type="button" value="▼"/>

図 14.19 開始日時（毎時）

「CRON 形式」を選択した場合は、以下を設定します。

- ・ CRON 形式入力
- ・ 評価を継続する期間（秒）
- ・ タイムゾーン

開始日時

指定方法*	<input type="radio"/> 毎月 <input type="radio"/> 毎週 <input type="radio"/> 毎日 <input type="radio"/> 毎時 <input checked="" type="radio"/> CRON形式
CRON形式入力*	<input type="text" value="CRON形式で入力してください。"/>
評価を継続する期間(秒)*	<input type="text" value="60~86400の間で入力してください。"/>
タイムゾーン*	<input type="text" value="UTC(+00:00) UTC"/>

キャンセル

追加

図 14.20 開始日時 (CRON 形式)

(6) 以下を設定して「次へ」をクリックします。

アラームタイプ「threshold」「combination」どちらを選択した場合でも設定

- ・ 設定/非設定

アラーム作成

キャンセル

1 アラームタイプ 2 アラーム詳細 3 監視項目 4 アラーム評価スケジュール 5 **アクション設定** 6 確認

設定/非設定 設定 非設定

戻る 次へ

図 14.21 アクション設定 (非設定)

「設定」を選択した場合「アラーム時のアクション」、「OK 時のアクション」、「データ不足時のアクション」を追加できます。「アクションの追加」ボタンをクリックするとポップアップが表示されますので、以下を設定します。

アラーム作成 キャンセル

アラームタイプ
 アラーム詳細
 監視項目
 アラーム評価スケジュール
 5 アクション設定
 6 確認

設定/非設定 設定 非設定

アラーム時のアクション アクションの追加

サービスへ	パラメータ1	パラメータ2	アクション

OK時のアクション アクションの追加

サービスへ	パラメータ1	パラメータ2	アクション

データ不足時のアクション アクションの追加

サービスへ	パラメータ1	パラメータ2	アクション

図 14.22 アクション設定（設定）

アラーム時のアクション追加

サービス*

図 14.23 アラーム時のアクション追加

- ・ サービス (mail)

OK時のアクション追加

サービス*

図 14.24 OK 時のアクション追加

- ・ サービス (mail)



図 14.25 データ不足時のアクション追加

- ・ サービス (mail)

(7) 確認画面でこれまでの設定内容を確認します。問題が無ければ「作成」をクリックします。



図 14.26 アラーム作成 (確認)

14.3 アラーム詳細

アラーム一覧のアラーム名をクリックすることでアラーム詳細を開くことができます。

アラーム一覧では表示していない詳細情報を確認します。



図 14.27 アラーム詳細 (アラームタイプ・アラーム詳細)

しきい値	
しきい値	1
しきい値とサンプル値の比較演算子	等しい
しきい値を判定する間隔(秒)	60
しきい値を評価するための期間数	1
しきい値と比較する統計	平均値
異常にサンプル数が少ないデータポイントの扱い	除外する

図 14.28 アラーム詳細 (監視項目・しきい値)

クエリー		
フィールド名	比較演算子	値
project_id	等しい	YT_project

アラーム評価スケジュール				
設定名	開始日時	評価を継続する期間 (秒)	タイムゾーン	説明

図 14.29 アラーム詳細 (クエリー・アラーム評価スケジュール)

アラーム選択	
組み合わせの評価方法	OR条件

組み合わせるアラーム一覧

アラーム名	タイプ	有効/無効	最新の状態
yt_alm01	threshold	true	ok

アラーム評価スケジュール				
設定名	開始日時	評価を継続する期間 (秒)	タイムゾーン	説明
yt_eva01	毎月 01日 00時00分	60	UTC	Time constraint at 0 0 1 ** lasting f or 60 seconds

図 14.30 アラーム詳細 (アラーム選択・組み合わせるアラーム一覧・アラーム評価スケジュール)

アラーム時のアクション		
サービス	パラメータ1	パラメータ2
mail	y1MmkJw3	send

OK時のアクション		
サービス	パラメータ1	パラメータ2
mail	y1MmkJw3	send

データ不足時のアクション		
サービス	パラメータ1	パラメータ2
mail	y1MmkJw3	send

図 14.31 アラーム詳細（アラーム時・OK時・データ不足時のアクション）

表 14-2 アラーム詳細テーブル表示内容

No.	分類	項目名	表示内容
1	アラームタイプ	アラームタイプ	threshold / combination
2	アラーム詳細	アラーム名	アラームの名前
3		リソース ID	リソースの ID
4		有効/無効	true / false
5		アクションの実行方式	true / false
6		説明	アラームの説明
7		監視項目	監視項目
8	しきい値	しきい値	しきい値
9		しきい値とサンプル値の比較演算子	等しい/より大きい/より大きいか等しい/より小さい/より小さいか等しい
10		しきい値を判定する間隔(秒)	秒数
11		しきい値を評価するための期間数	しきい値を評価するための期間数
12		しきい値と比較する統計	平均値/サンプル数/最大値/最小値/合計値
13		異常にサンプル数が少ないデータポイントの扱い	除外する/除外しない
14		クエリー	フィールド名
15	比較演算子		等しい/より大きい/より大きいか等しい/より小さい/より小さいか等しい
16	値		値
17	アラーム選択	組み合わせの評価方法	AND 条件 / OR 条件
18		アラーム名	組み合わせるアラームの名前
19		タイプ	組み合わせるアラームのタイプ threshold / combination
20		有効/無効	true / false
21		最新の状態	ok / insufficient data / alarm
22	アラーム評価スケジュール	設定名	設定の名前

23		開始日時	開始日時
24		評価を継続する期間（秒）	秒数
25		タイムゾーン	タイムゾーン
26		説明	アラーム評価スケジュールの説明
27	アラーム時のアクション	サービス	mail
28		パラメータ 1	パラメータ 1
29		パラメータ 2	パラメータ 2
30	OK 時のアクション	サービス	mail
31		パラメータ 1	パラメータ 1
32		パラメータ 2	パラメータ 2
33	データ不足時のアクション	サービス	mail
34		パラメータ 1	パラメータ 1
35		パラメータ 2	パラメータ 2

14.4 アラーム編集

作成したアラームの編集ができます。

(1)アラーム一覧画面で、編集するアラームのプルダウンから「編集」をクリックします。



図 14.32 アラーム一覧（編集）

(2)アラーム編集画面で、以下を編集することができます。選択したアラームタイプによって編集項目が変化します。各タイプの編集項目は「14.2 アラーム作成」参照してください。

- ・ アラームタイプ（threshold / combination）
- ・ アラーム名
- ・ リソース ID
- ・ 有効/無効
- ・ アクションの実行方式（再実行する/再実行しない）
- ・ 説明

アラーム編集 キャンセル

アラームタイプ

アラームタイプ* threshold combination

アラーム詳細

アラーム名*

リソースID

有効/無効* 有効 無効

アクションの実行方式* 再実行する 再実行しない

説明

図 14.33 アラーム編集（アラームタイプ・アラーム詳細）

アラームタイプ（threshold を選択した場合）

監視項目

監視項目* 設定

しきい値

しきい値*

しきい値とサンプル値の比較演算子

しきい値を判定する間隔(秒)

しきい値を評価するための期間数

しきい値と比較する統計

異常にサンプル数が少ないデータポイントの扱い 除外する 除外しない

図 14.34 アラーム編集（監視項目・しきい値）

クエリー クエリーの追加

フィールド名 ^	比較演算子 ◊	値 ◊	アクション
project_id	等しい	YT_project	削除

図 14.35 アラーム編集（クエリー）

- ・ 監視項目
- ・ しきい値
- ・ しきい値とサンプル値の比較演算子
（等しいより大きいより大きいか等しいより小さいより小さいか等しい）

- ・ しきい値を判定する間隔（秒）
- ・ しきい値を判定するための期間数
- ・ しきい値と比較する統計（平均値/サンプル数/最大値/最小値/合計値）
- ・ 異常にサンプルが少ないデータポイントの扱い（除外する/除外しない）
- ・ クエリー

アラームタイプ「combination」を選択した場合

図 14.36 アラーム編集（アラーム選択）

- ・ アラーム選択（AND 条件 / OR 条件）
- ・ 組み合わせるアラーム一覧

アラームタイプ「threshold」「combination」どちらを選択した場合でも設定

図 14.37 アラーム編集（アラーム評価スケジュール）

- ・ 設定/非設定

図 14.38 アラーム編集（アクション設定）

- ・ 設定/非設定

サービス	パラメータ1	パラメータ2	アクション
mail	y1MmkJw3	send	削除

図 14.39 アラーム編集（アラーム時、OK 時、データ不足時のアクション）

- ・ アラーム時のアクション
- ・ OK 時のアクション
- ・ データ不足時のアクション

(3)編集後「更新」をクリックします。

14.5 アラーム履歴

アラーム履歴を表示できます。



図 14.40 アラーム履歴

表 14-3 アラーム履歴テーブル表示内容

No.	項目名	表示内容
1	アラーム名	アラームの名前
2	絞り込み条件	「14.5.1 アラーム履歴表示方法」参照
3	日時	アラームの日時
4	アラームタイプ	creation / rule change / state transition / deletion / action
5	内容	アラームの内容

14.5.1 アラーム履歴表示方法

(1)アラーム一覧画面で、アラーム履歴を表示するアラームのプルダウン「履歴」をクリックします。

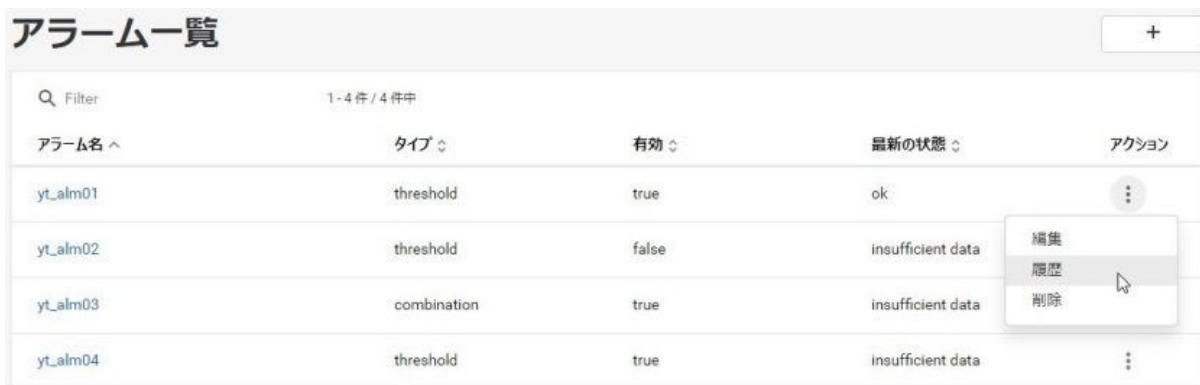


図 14.41 アラーム一覧（履歴）

(2)アラーム履歴画面の絞り込み条件で以下を設定し、「表示」ボタンをクリックします。

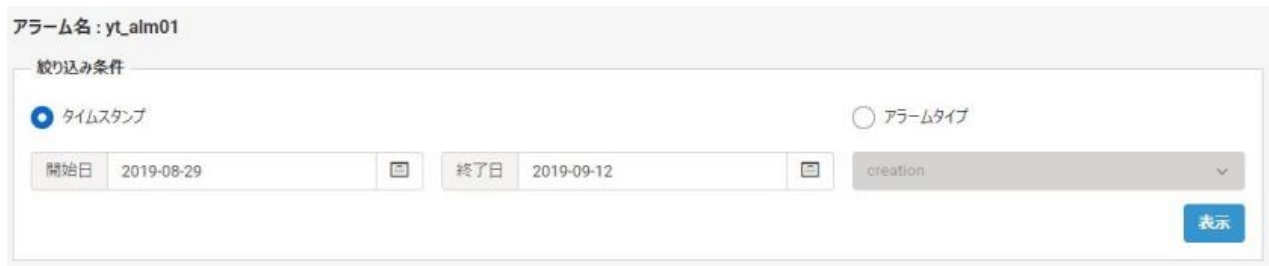


図 14.42 アラーム履歴（絞り込み条件「タイムスタンプ」）

タイムスタンプを選択した場合は、以下を設定します。

- ・ 開始日

開始日テキストフォーム横のカレンダーアイコンをクリックして日付を選択します。

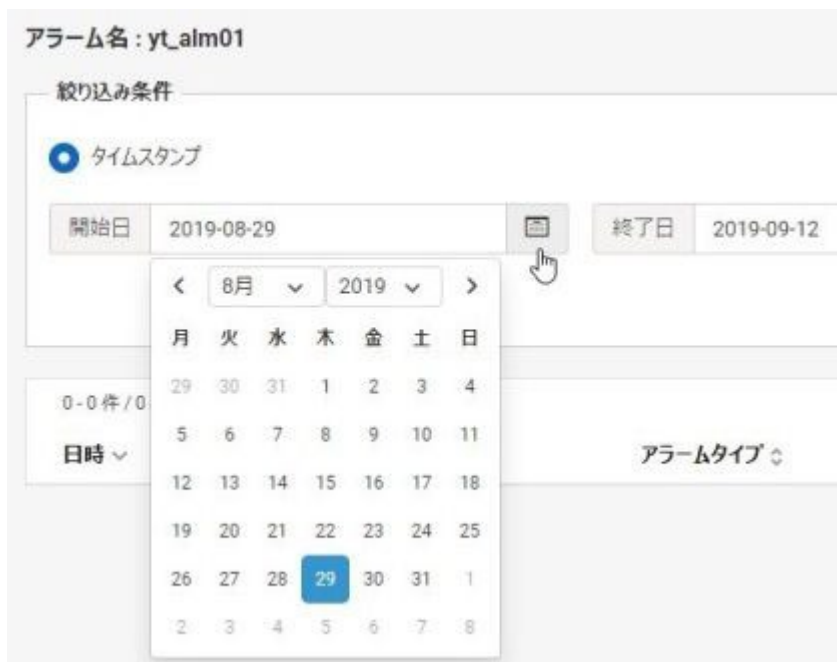


図 14.43 タイムスタンプ（開始日）

- ・ 終了日

終了日テキストフォーム横のカレンダーアイコンをクリックして日付を選択します。

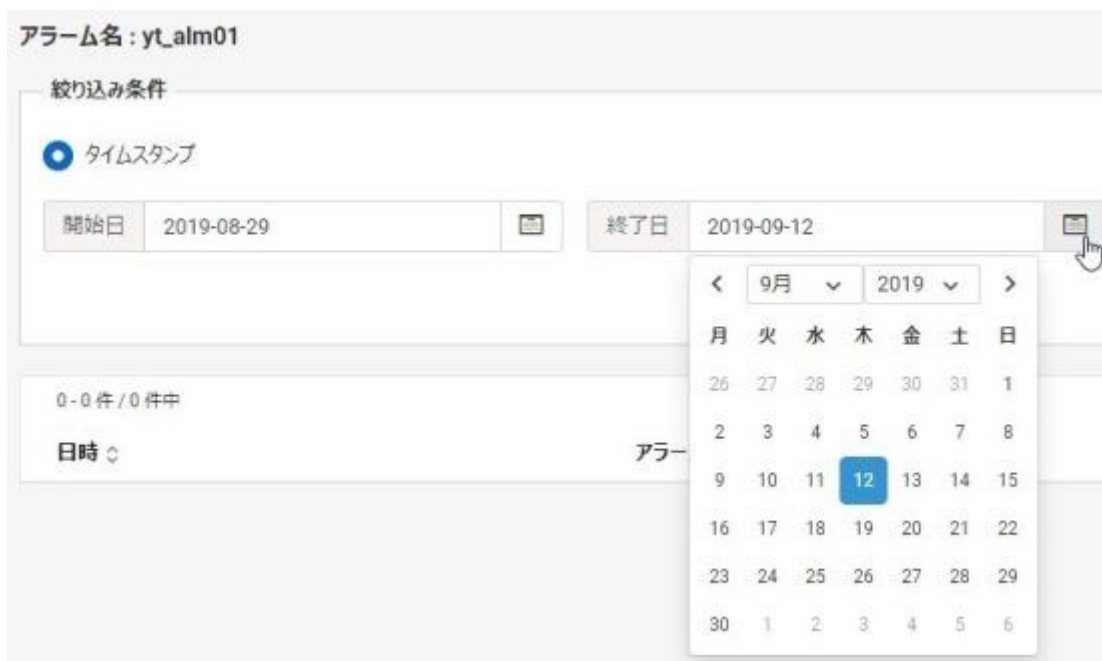


図 14.44 タイムスタンプ（終了日）

「アラームタイプ」を選択した場合は、以下を設定します。

- ・ アラームタイプ
- ・ creation
- ・ rule change
- ・ state transition
- ・ deletion
- ・ action



図 14.45 アラーム履歴（絞り込み条件「アラームタイプ」）

14.6 アラーム削除

アラームを削除できます。

(1) アラーム一覧画面で、削除するアラームのプルダウンから「削除」をクリックします。



図 14.46 アラーム一覧（削除）

(2) 削除内容を確認して問題なければ「削除」ボタンをクリックします。



図 14.47 アラームの削除